

**日本食品に対する海外消費者意識アンケート調査  
(中国、香港、台湾、韓国、米国、フランス、イタリア)  
7カ国・地域比較**

**2013年3月**

**日本貿易振興機構(ジェトロ) 農林水産・食品調査課**

## 目次(全体)

調査概要	2
結果のまとめ(要約)	5
回答者属性	7
調査結果	12
1. 外国料理の嗜好・外食の習慣に関する設問	
2. 食品購入に関する設問	
3. 日本産清酒の消費・購入経験、用途、評価に関する設問	
4. 日本産緑茶の消費・購入経験、用途、評価に関する設問	
5. 消費経験があり好きな日本産品に関する設問	
6. 現状輸入が難しい日本産品に関する設問	
設問一覧	49

# 調査概要

# 調査概要

調査名 : 日本食品に対する消費者意識アンケート調査

調査目的 : 本アンケート調査は、海外消費者の食品の消費習慣や、日本料理および日本産食品に対する評価など生の声を探り、現地消費者の需要を把握するとともに、今後の当該市場への日本産食品の輸出拡大の参考とすることを狙いとする。

期間 : 2012年12月6日～12月20日

調査手法 : インターネット定量調査

対象国 : ①中国(上海市内および上海近郊3都市内<蘇州、杭州、寧波>)  
②香港  
③台湾(台北市内)  
④韓国(ソウル市内)  
⑤米国(ニューヨーク市内、ロサンゼルス市内)  
⑥フランス(パリ市内)  
⑦イタリア(ローマ市内)

# 調査概要

調査対象者： 20～59歳の一般消費者男女のうち、過去に日本食品を購入あるいは日本料理店を利用したことがあるもの  
 ※原則として現地系住民を対象とした  
 ※在留邦人、留学生、現地駐在員は対象外とした

割付 : 性別、年齢(20代、30代、40代、50代)による均等割り付け

		男性				女性			
		20代	30代	40代	50代	20代	30代	40代	50代
①中国	上海	25	25	25	25	25	25	25	25
	蘇州、杭州、寧波	25	25	25	25	25	25	25	25
②香港		50	50	50	50	50	50	50	50
③台湾(台北)		50	50	50	50	50	50	50	50
④韓国(ソウル)		50	50	50	50	50	50	50	50
⑤米国	ニューヨーク	25	25	25	25	25	25	25	25
	ロサンゼルス	25	25	25	25	25	25	25	25
⑥フランス(パリ)		50	50	50	50	50	50	50	50
⑦イタリア(ローマ)		50	50	50	50	50	50	50	50

# 結果のまとめ(要約)

# 調査結果のポイント

日本料理、日本産清酒・緑茶が対象7カ国・地域で高評価を得た。

とりわけ清酒は中国、米国で、緑茶はフランスで好評。

好きな日本料理メニューや食品等購入時の情報収集行動にはアジアと欧米で地域差も。

## ◆好きな外国料理：日本料理に対する高い好感度

日本料理が1位と高評価を得たほか、2位はイタリア料理。上述以外は近隣国の食が評価される傾向が。

## ◆好きな日本料理：「寿司・刺身」、「焼き鳥」、「天ぷら」は定番人気

専門店が増えるアジア、米国ではラーメンも高評価。

そのほか欧州ではカレーライス、アジアではすき焼きやししゃぶの回答割合も比較的高い。

## ◆好きな寿司ねた・刺身：「鮭」人気高く、「まぐろ」を上回る

## ◆食品購入時の重視点：「おいしさ」「経済的な価格」「健康」を重視

## ◆食品等購入時の重要情報源：「友人、知人のすすめ」が最重要

欧米は「友人のすすめ」「過去の経験」、アジアは「ネット」「ブランド」重視の傾向

## ◆日本産品を買わない理由、購入時の問題点：「価格が高い」

韓国では日本産品への安全性への懸念、イタリアではパッケージ・ラベルに問題、

米国では食材の使用法・調理法が分からないという声も。

## ◆日本産清酒を飲んだ評価：8割が日本酒を高く評価

特に中国、米国で高評価。近年の米国における特定名称酒の健闘も一要因に。

## ◆日本産緑茶を飲んだ評価：9割超が日本茶を高く評価

フランスでは女性を中心に好評な一方アジアでは厳しい評価も。

## ◆食べてみたい日本産品：日本産の「牛肉」「桃」への高い需要



日本食として寿司以外の焼き鳥、天ぷらも定番メニューとして浸透。上述以外は、地域特性あり。



日本茶は6割が購入経験あり、8割が高評価、特にフランスや中国で好まれていた結果に。

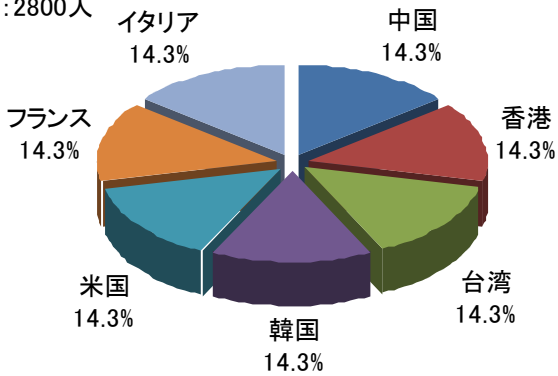
# 回答者属性



# 回答者属性

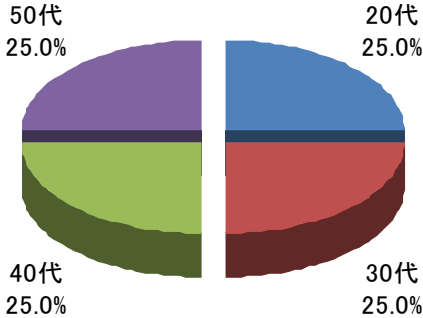
## 国

回答者数: 2800人



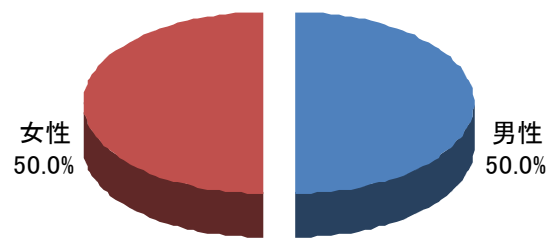
## 年代

回答者数: 2800人



## 性別

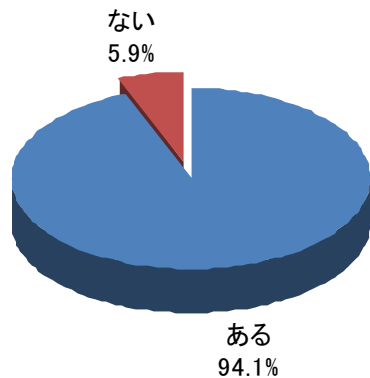
回答者数: 2800人



# 回答者属性

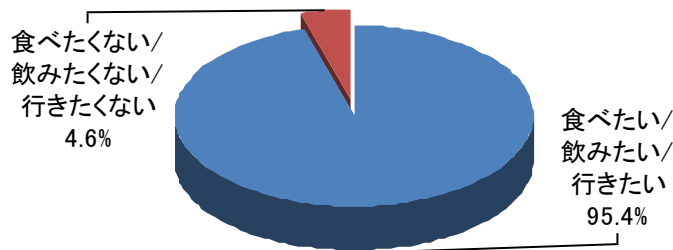
## 日本食購入経験

回答者数: 2800人



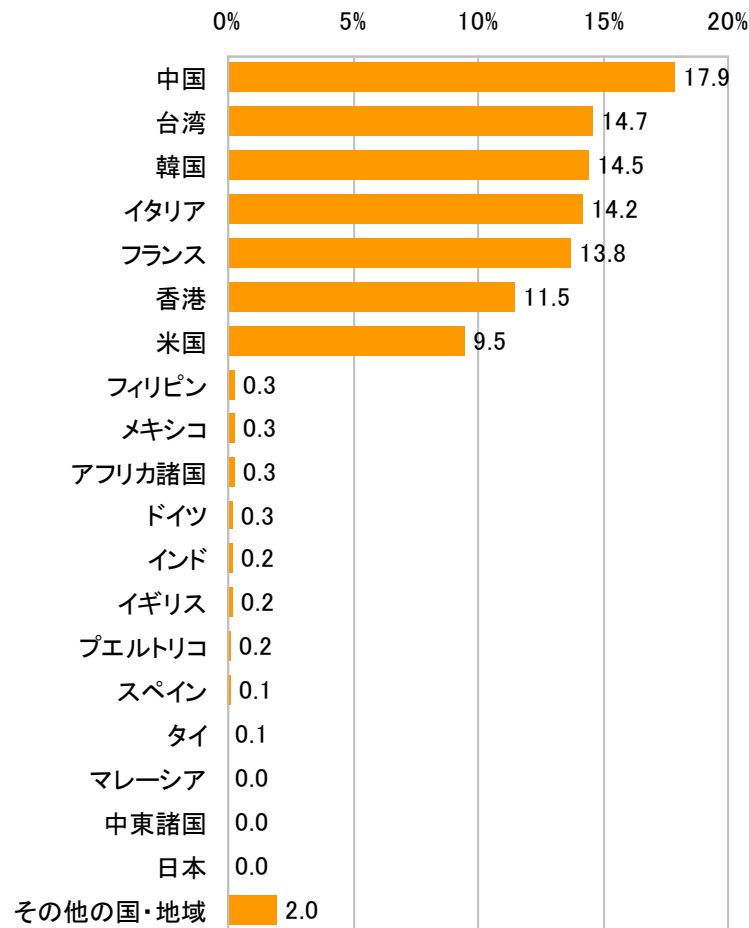
## 日本食購入意向

回答者数: 2800人



## 国籍

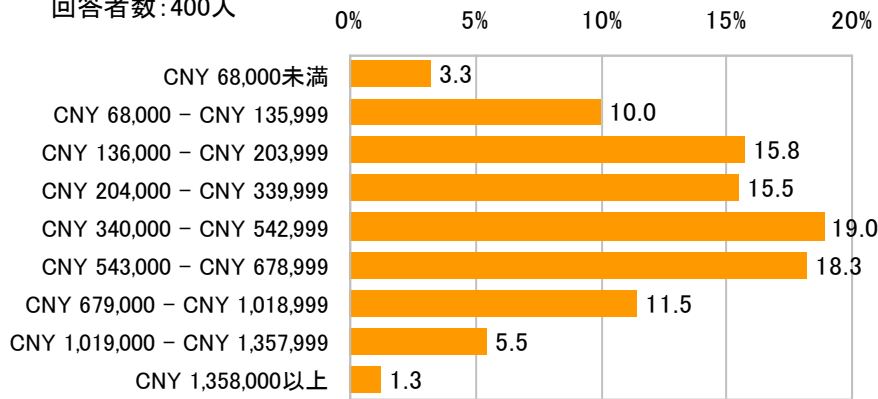
回答者数: 2800人



# 回答者属性

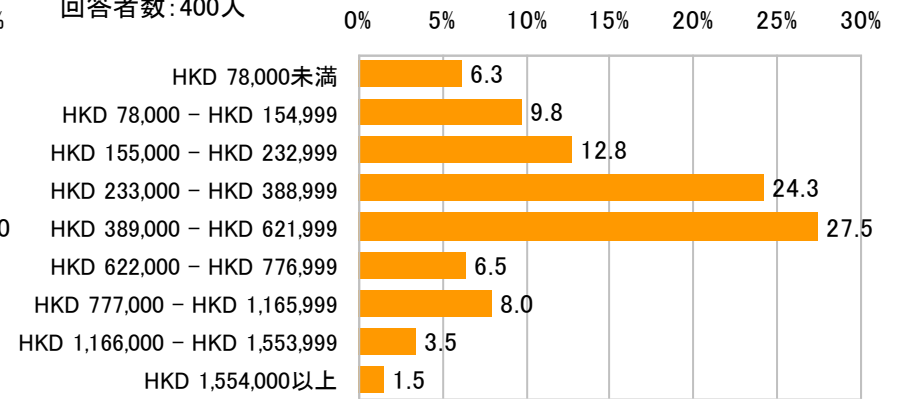
## 世帯年収 ①中国

回答者数: 400人



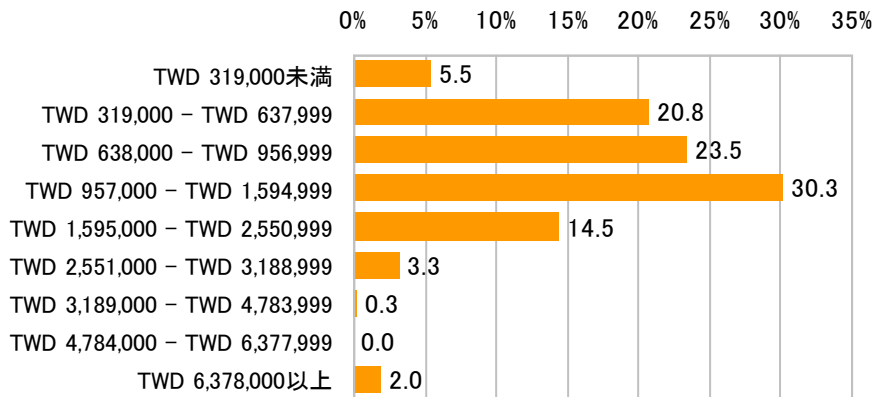
## 世帯年収 ②香港

回答者数: 400人



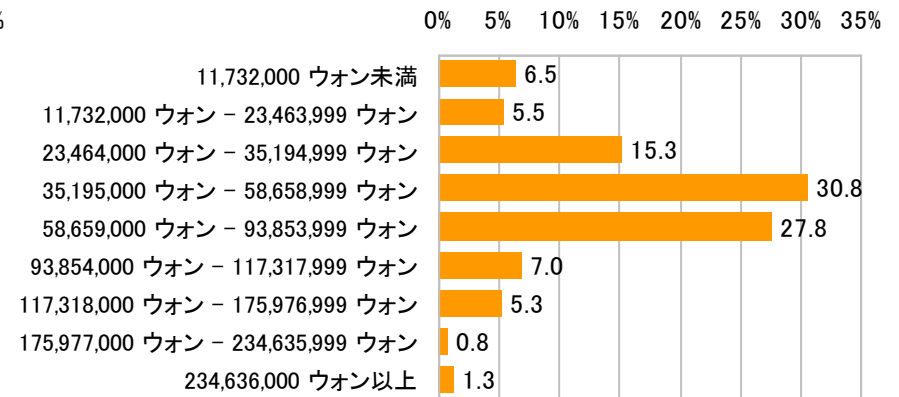
## 世帯年収 ③台湾

回答者数: 400人



## 世帯年収 ④韓国

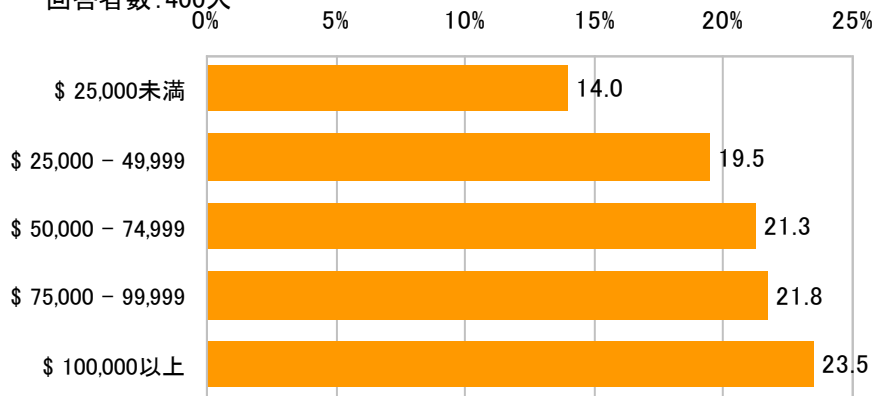
回答者数: 400人



# 回答者属性

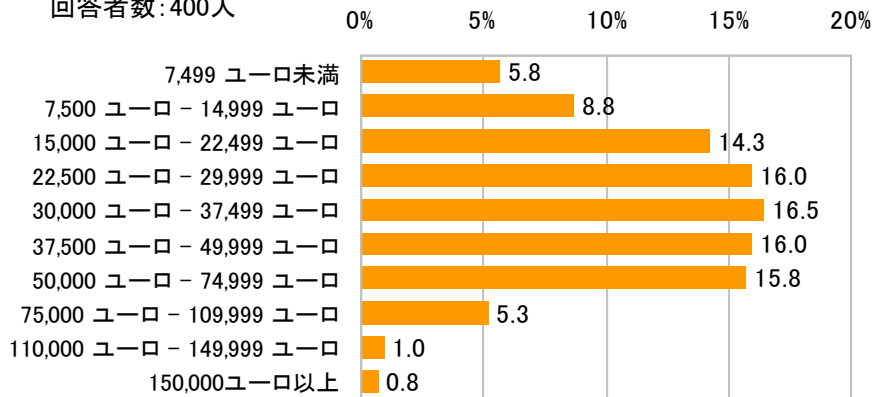
## 世帯年収 ⑤米国

回答者数: 400人



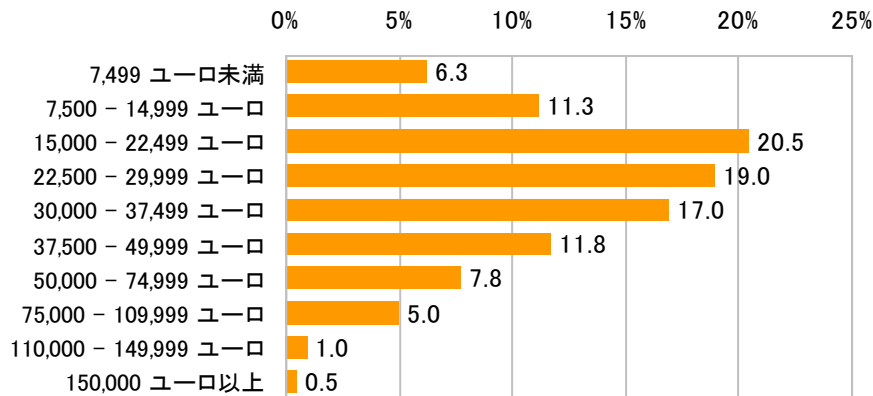
## 世帯年収 ⑥フランス

回答者数: 400人



## 世帯年収 ⑦イタリア

回答者数: 400人



# 調査結果

# 1. 外国料理の嗜好・ 外食の習慣に関する設問

- Q1 好きな料理かつ外食で食べる外国料理はどれですか。
- Q2 好きな日本料理メニューはどれですか。
- Q3 「寿司」、「刺身」を選んだ方にお聞きします。好きな食材はどれですか。
- Q4 日本料理店に行く理由を教えてください。

# A1 好きな外国料理 日本料理に対する高い好感度

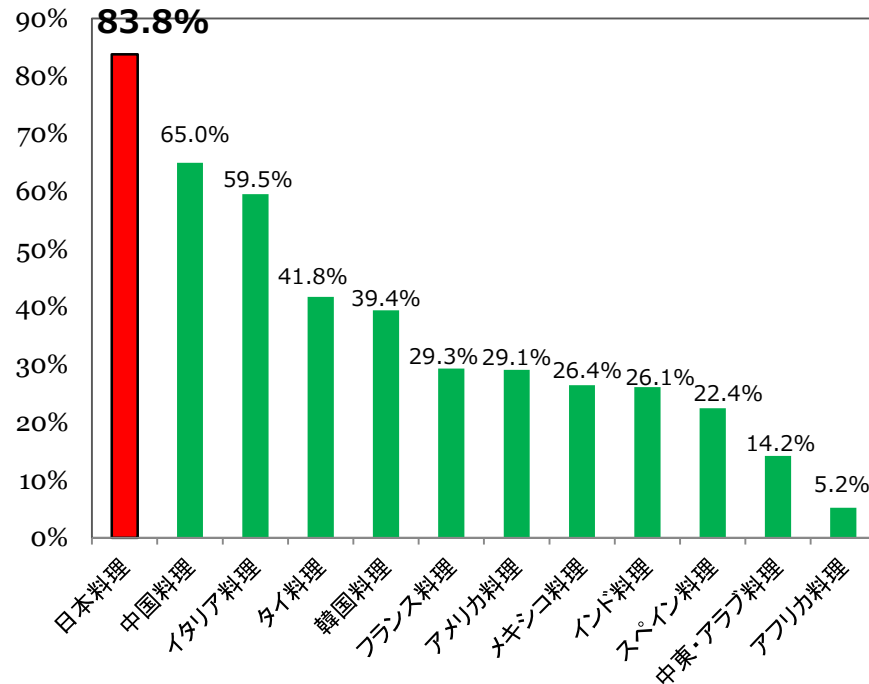
好きな外国料理、全体1位は日本。  
回答者の83.8%が「日本料理を好き」と回答

- 米国を除く6カ国・地域全てで「日本料理」が1位(米国では3位)。
- 高評価の日本料理、イタリア料理以外は、各国で人気の外国料理には地域差が表れ、近隣国の食を好む傾向がみられた。

## 好きな外国料理

質問:「好きな料理かつ外食で食べる外国料理はどれですか(複数回答可)」 ※本設問においては、実施国の料理は選択肢から除外。

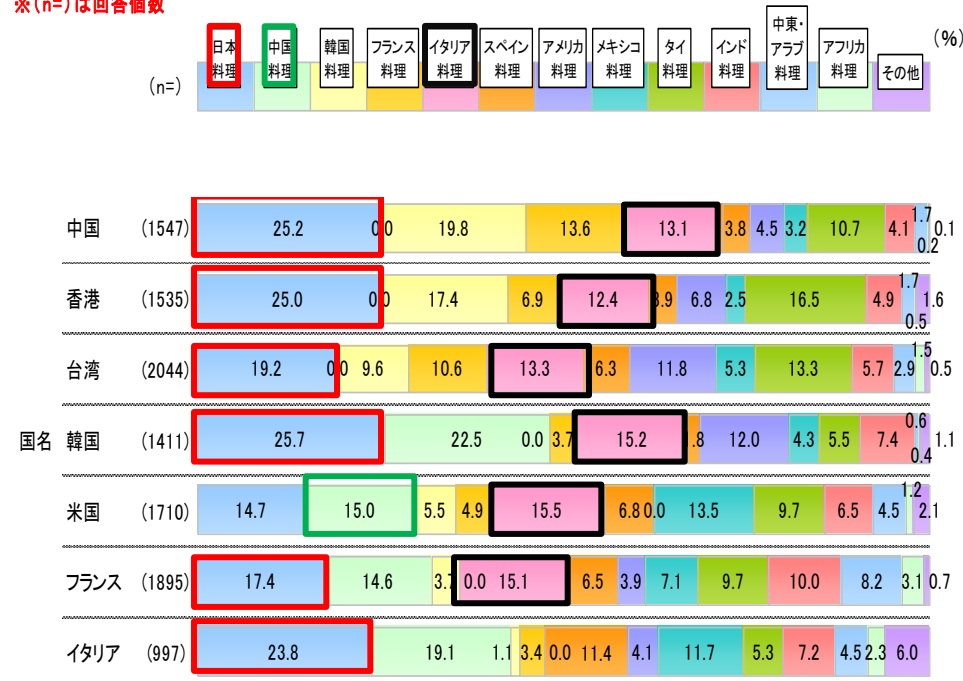
【図1】好きな外国料理(7カ国全体結果)



※【図1】は複数回答可としており、回答者数に対する回答個数の割合を示した。  
なお、自国の料理は選択肢から除外

【図2】好きな外国料理(各国の結果)

※(n)は回答個数



※【図2】は複数回答可としており、総回答数に対する回答個数の割合を示した。

## A2 好きな日本料理

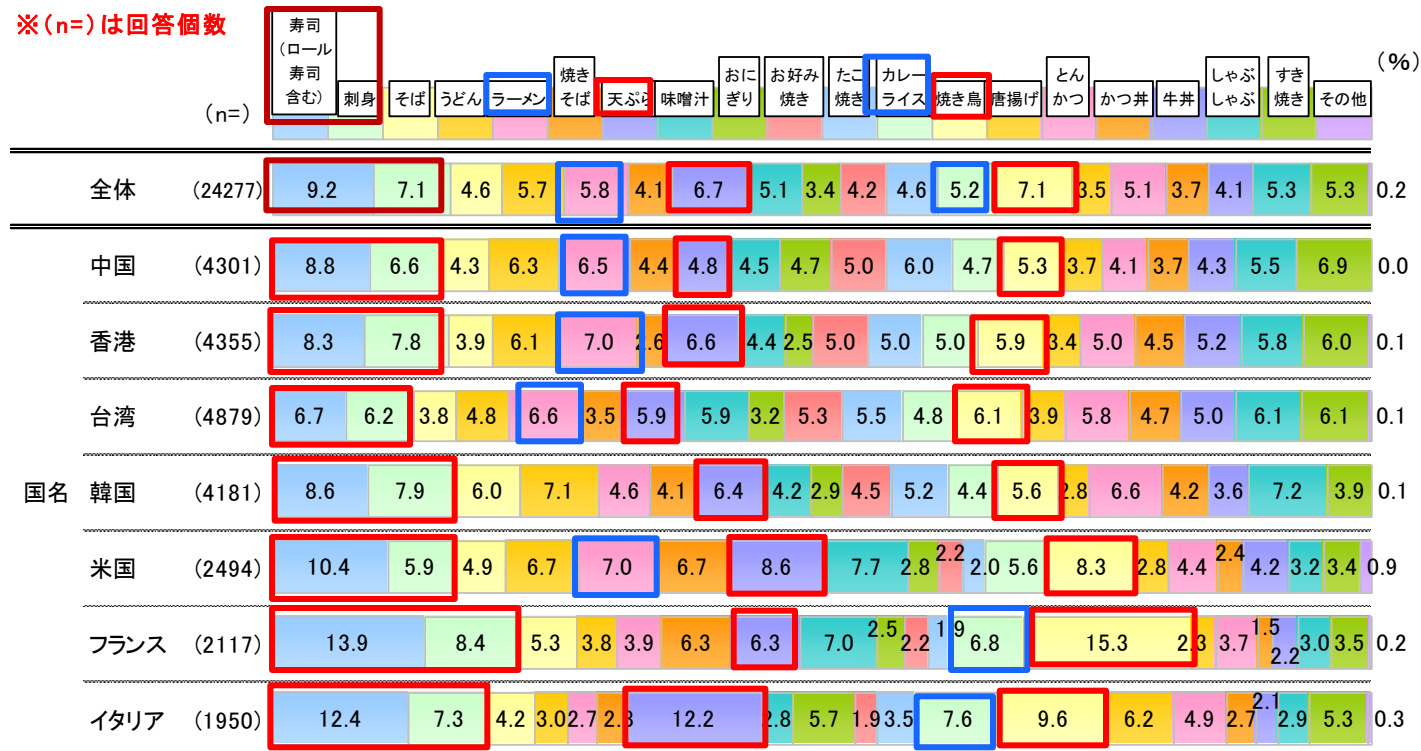
### 専門店の増加やアニメの浸透でラーメンやカレーも人気

「寿司・刺身」「焼き鳥」「天ぷら」は定番メニューとして浸透

- 「寿司・刺身」「焼き鳥」「天ぷら」は定番人気で国・地域を問わず好評。代表品目はアジアよりも欧米での回答割合が高かった。
- アジアや米国で「ラーメン」が支持され、欧州では「カレーライス」が好まれる結果が出た。前者はラーメン専門店の増加がブームを後押しし、後者はアニメが広まる中でカレーを食べるシーンが描かれていることが多いことから消費者に受け入れられているもよう。

質問:「好きな日本料理メニューはどれですか(複数回答可)」

※(n=)は回答個数



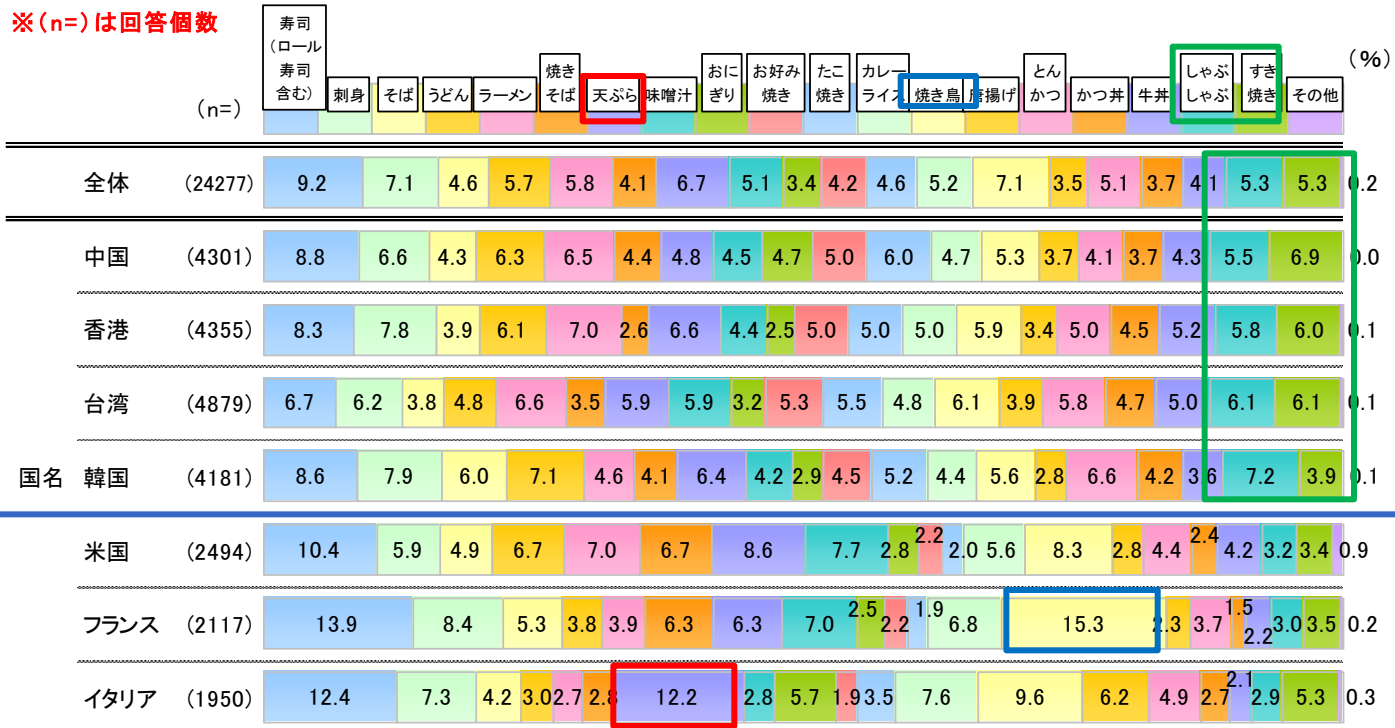


## A2-(地域分析) 好きな日本料理

### イタリアの天ぷら、フランスの焼き鳥など、各国で特徴的な結果に

- イタリアの「天ぷら」、フランスの「焼き鳥」など各国で特徴的な品目があり、全体の評価を押し上げている。
- フランスでは「焼き鳥」の人气が寿司を上回るなど、特徴的な傾向がみられ、「日本食=寿司」に当てはまらない展開の可能性がみられる。  
欧州では寿司を提供する店舗のサイドメニューとして、「焼き鳥」、「天ぷら」がみられることが要因のひとつと思われる。
- イタリアの「天ぷら」人気については、野菜や魚介類のフリットを家庭で作るイタリア人にとってなじみやすい料理であることが背景の一つとして考えられる。ジェットロが2012年にイタリアで実施した日本食材取扱店へのインタビューからも近年の売れ筋商品として日本産天ぷら粉が揚げられるなど、消費者に徐々に受容されていることが明らかになっている。
- そのほか、アジアではすき焼き、しゃぶしゃぶ等の回答割合も比較的高かった。

質問:「好きな日本料理メニューはどれですか(複数回答可)」



# A3 好きな寿司ネタ・刺身

## 「鮭」人気高く、「まぐろ」を上回る

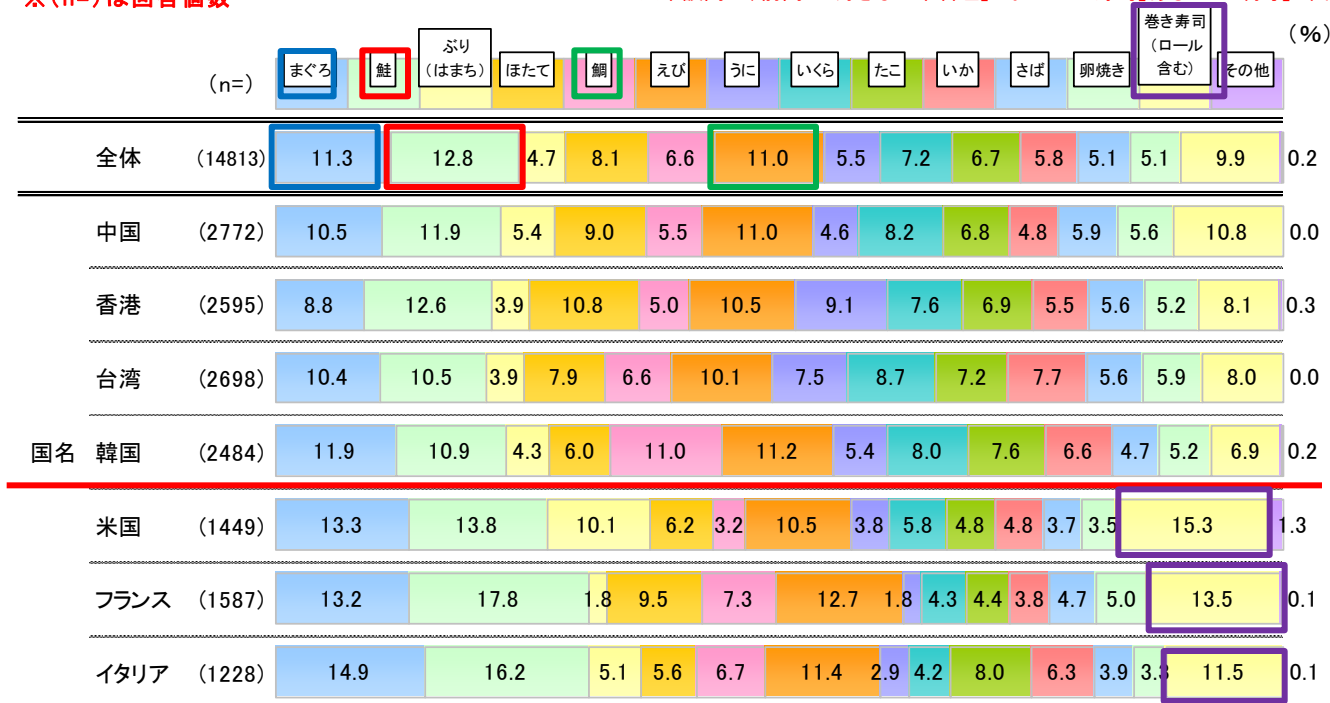
次いで「エビ」、「巻きずし」も好まれ、特に欧米で巻き寿司が浸透

- 1位の「鮭」を「まぐろ」、「えび」、「巻きずし」が追う
- 欧米のロール人気、「巻き寿司」の割合を押し上げる結果に。特に米国では巻き寿司は定番メニューとして浸透を深めており、カリフォルニアロールに限らず独創的なロールが好まれている。
- 米国におけるぶり(はまち)、香港におけるほたての人気は、いずれも日本からの輸出総額が多い相手先国と品目であることが背景の一つとして考えられる。

質問:「好きな日本料理メニューのうち、「寿司」、「刺身」を選んだ方にお聞きします。  
好きな寿司ネタ・刺身はどれですか(複数回答可)」

※(n=)は回答個数

※本設問は、前問の「好きな日本料理」において「寿司」あるいは「刺身」と回答した方のみを対象。

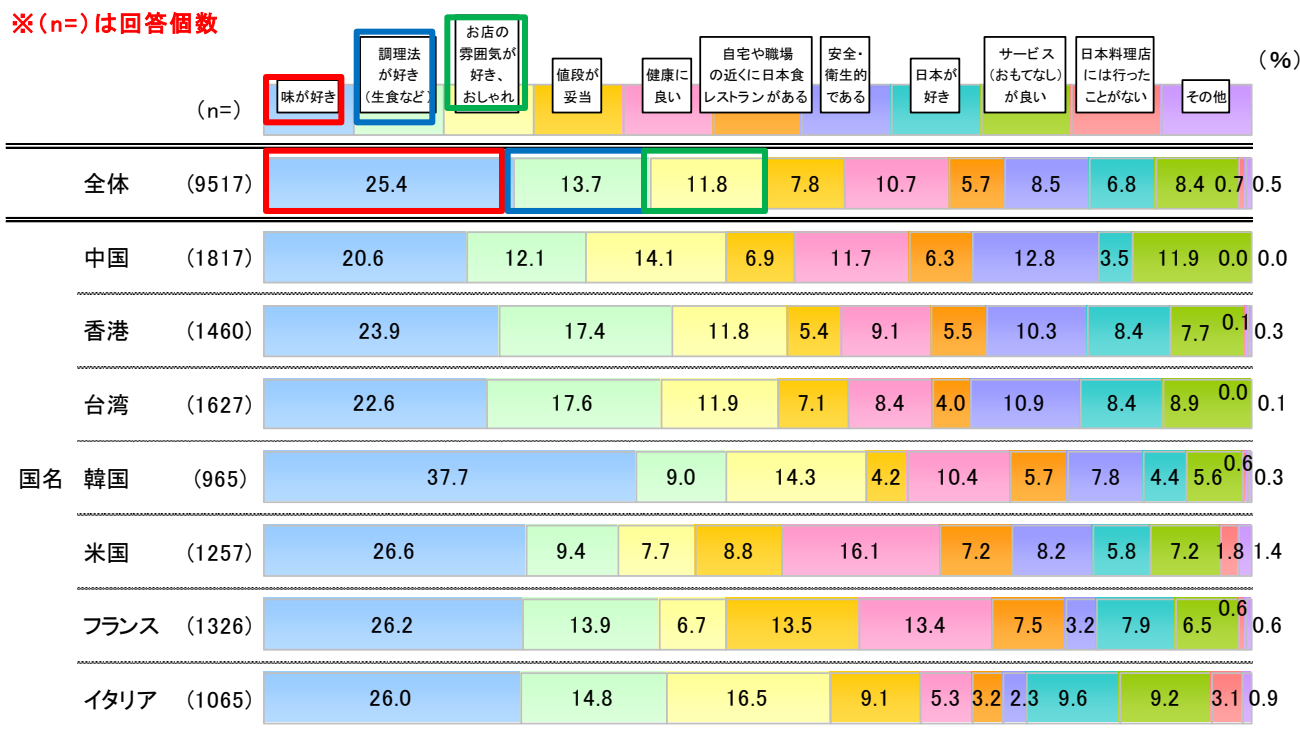


# A4 日本料理店に行く理由

## 重要な要素は「味」、次いで「調理法」、「おしゃれ」

- 全体では、「味が好き」が最も高く25.4%、次いで「調理法が好き(生食など)」13.7%、「お店の雰囲気が好き、おしゃれ」が11.8%となった。
- 「味が好き」をみると、『韓国』が最も高く37.7%、次いで『米国』が26.6%、『フランス』が26.2%となった。
- 「調理法が好き(生食など)」をみると、『台湾』が最も高く17.6%、次いで『香港』が17.4%、『イタリア』が14.8%となった。
- 「お店の雰囲気が好き、おしゃれ」をみると、『イタリア』が最も高く16.5%、次いで『韓国』が14.3%、『中国』が14.1%となった。

質問:「日本料理店に行く理由を教えてください(複数回答可)。」



## 2. 食品購入に関する設問

- Q5** 日本食品に限らず、食品一般についてお聞きします。  
日頃、食品を購入する際に重視する点は何ですか。
- Q6** 日本食品に限らず、輸入食品一般についてお聞きします。  
輸入食品の購入に当たってどのような情報源を重要視しますか。
- Q7** 具体的に参考にされているサイトを教えてください。

# A5 食品購入時の重視点

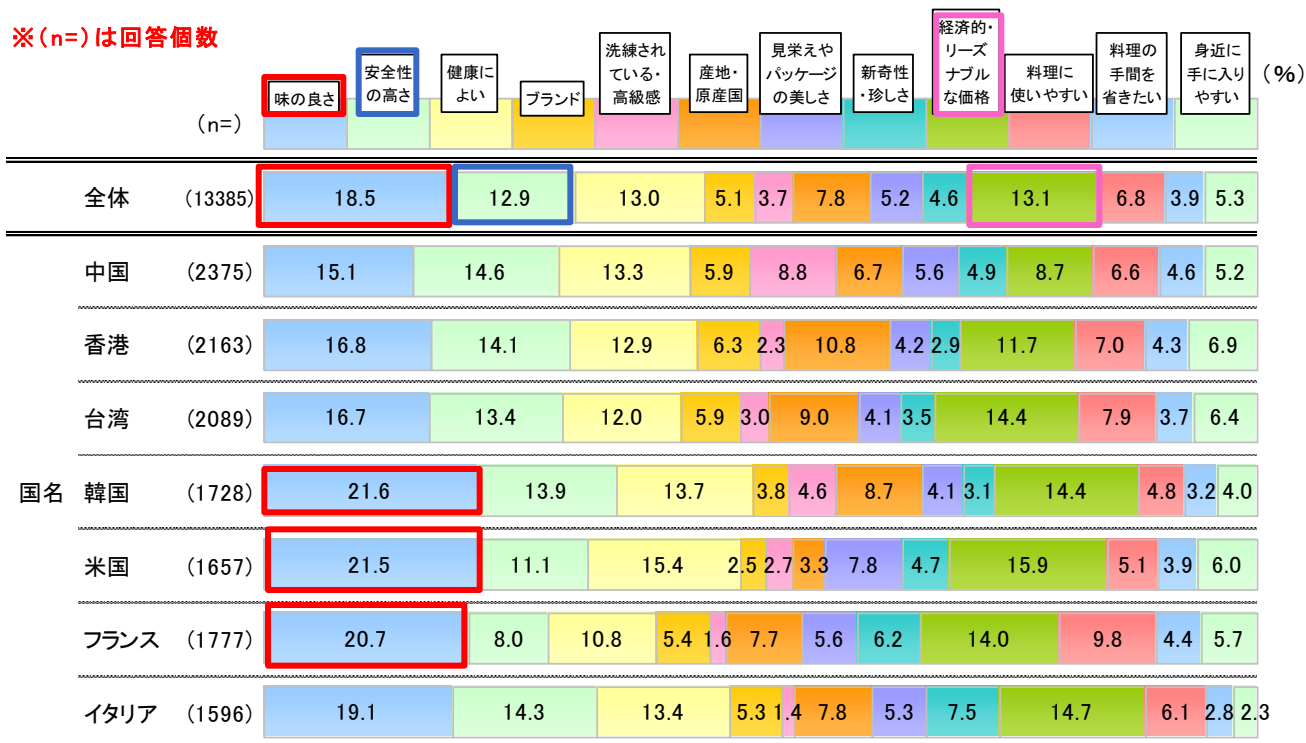
## 「おいしさ」を重視

味に加え、「経済的な価格」、「健康によい」がポイント

米国は「健康志向」、香港、台湾は「産地志向」、イタリアは「珍しさ」がキーワードに

- 全体では、「味の良さ」が最も高く18.5%、次いで「経済的・リーズナブルな価格」13.1%、「健康によい」が13.0%となった。
- 「味の良さ」を見ると、『韓国』が最も高く21.6%、次いで『米国』が21.5%、『フランス』が20.7%となった。
- 各国とも概して重視点は固定化されている傾向がある。例えば米国での「健康」志向はこの後の日本茶や日本製品の評価にも一貫している。同様に香港、台湾の「産地・原産国」志向、イタリアの「珍しさ」を重視する点は特徴的である。

質問:「日本食品に限らず、食品一般についてお聞きします。日頃、食品を購入する際に重視する点は何ですか(複数回答可)。」



# A6 輸入食品等購入時の重要情報源

## 「友人、知人のすすめ」が最重要

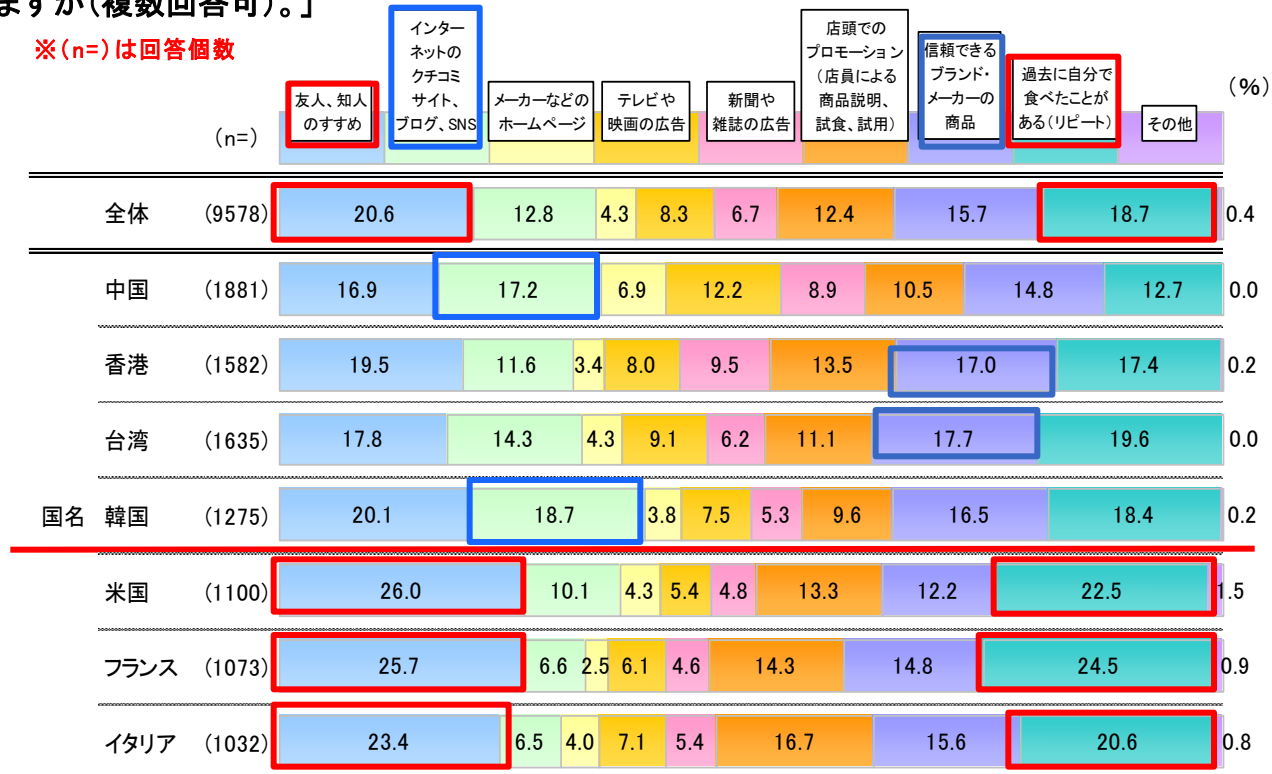
「過去に食べたことがある(リピート)」、信頼できる「ブランド」も大事

欧米は「友人のすすめ」「過去の経験」、アジアは「ネット」「ブランド」重視の傾向

- 全体では、「友人、知人のすすめ」が20.6%、次いで「過去に食べたことがある(リピート)」18.7%、「ブランド・メーカー」が15.7%となった。欧米で「友人、知人のすすめ」、「過去に自分で食べたことがある(リピート)」という点を重視する傾向。
- 「信頼できるブランド・メーカーの商品」を見ると、『台湾』が最も高く17.7%、次いで『香港』が17.0%、『韓国』が16.5%となった。
- アジアの特に韓国、中国は「インターネットのクチコミサイト、ブログ、SNS」が最重要ツールといえる結果に。

質問:「日本食品に限らず、輸入食品一般についてお聞きします。輸入食品の購入に当たってどのような情報源を重要視しますか(複数回答可)。」

※(n=)は回答個数



# A7 輸入食品等購入時等の重要情報源(具体的なサイト名)

## 中国、韓国はネットの口コミサイト、SNS、ブログを重視

欧米はアジアに比べてサイト参照傾向が弱い

- 全体では、回答者数および回答個数いずれも「中国」が最も高く、回答者数が最も少なかったのは「イタリア」、回答個数が最も少なかったのは「フランス」と「イタリア」となった。
- 中国では、『大衆点評』、『新浪マイクロブログ』、『人人網』が人気。
- 韓国では、『Naver』が最も多く、次いで『Daum』、『Facebook』。

質問:「インターネットのクチコミサイト、ブログ、SNS」と回答した方にお聞きします。  
具体的に参考にされているサイトを教えてください。」

※本設問は、「輸入食品の購入時の重要情報源」においてインターネットの口コミサイト、SNS、ブログ」と回答した方のみを対象。

### 全体の回答数

国名	回答者数	回答個数
中国	293	369
韓国	150	206
台湾	134	177
香港	121	144
米国	74	97
フランス	43	43
イタリア	41	43

### 中国

サイト名	回答個数
大衆点評 (グルメ・娯楽・美容等の都市生活の口コミサイト)	92
新浪マイクロブログ	54
人人網(SNS)	48
新浪(ポータルサイト)	30
QQ(ポータルサイト)	16
新浪ブログ	13
天涯 (コミュニティサイト)	13
開心網(SNS)	12
美食天下 (グルメサイト)	7
百度(検索サイト)	5
搜狐(ポータルサイト)	5

### 韓国

サイト名	回答個数
Naver (ポータルサイト)	90
Daum (ポータルサイト)	32
facebook(SNS)	21
blog	6
Twitter	6
Yahoo (ポータルサイト)	5

### 米国

サイト名	回答個数
yelp(都市別情報サイト)	33
facebook(SNS)	8
google(検索サイト)	8
Chow(レシピ、レストラン紹介サイト)	4
amazon	3
eater(食物関係のサイト)	3
foursquare	3
zagat	3

### 台湾

サイト名	回答個数
Facebook(SNS)	39
台湾yahoo (ポータルサイト)	33
Mobile01 (ポータルサイト)	17
yahoo(ポータルサイト)	15
無名小站 (ヤフー系列のブログ、BBSサイト)	14
愛評網(食、旅行関係のポータルサイト)	13
PTT(BBS)	7
Google(検索サイト)	6
Blog	5

### 香港

サイト名	回答個数
Openrice (生活情報・グルメサイト)	60
facebook(SNS)	26
yahoo(ポータルサイト)	24
discuss.hk(討論サイト)	5
Uwants(情報サイト)	4
hkgolden(情報サイト)	3
Google(検索サイト)	2
sina.com.hk (ニュースサイト)	2
u food(グルメサイト)	2

### 3. 日本産清酒の消費・購入経験、用途、評価に関する設問

- Q8 あなたは、日本産清酒を購入したことがありますか。
- Q9 日本産清酒を購入した際の用途をお教えてください。
- Q10 日本産清酒を購入した際に重視した点を教えてください。
- Q11 あなたは、日本産清酒を飲んだことがありますか。
- Q12 あなたが飲んだ日本産清酒についてお聞きします。飲んだ場所はどこですか。
- Q13 日本産清酒を購入したこと・飲んだことがないのはなぜですか。
- Q14 日本以外の他国産の酒類(ビール、ワイン、ウイスキー等)と比べた場合、日本産清酒を味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階で評価してください。



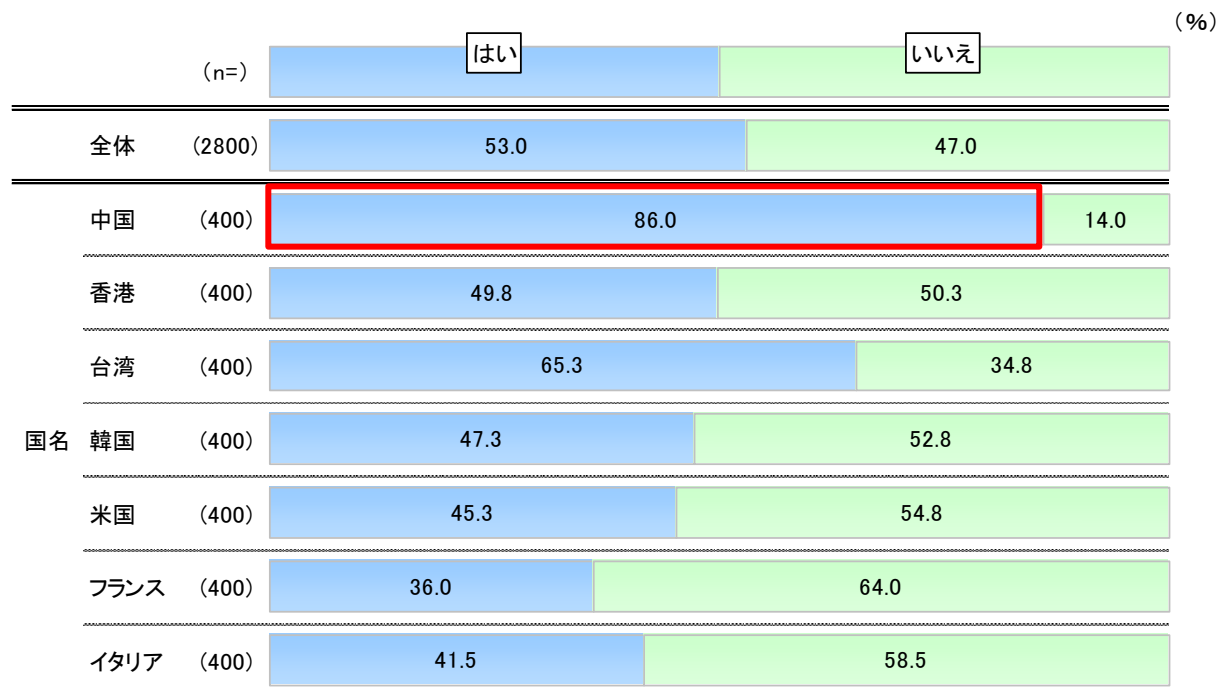
## A8 日本産清酒の購入経験

### 過半数は購入経験あり、中国の購入割合が他国と比べ最多に

- 全体では、「はい(購入経験あり)」が53.0%と、「いいえ(購入経験なし)」の47.0%を上回った。
- 「はい」をみると、『中国』が最も高く86.0%、次いで『台湾』が65.3%、『香港』が49.8%となった。
- ※中国は日系酒造メーカーはじめ現地で清酒を生産している企業も多いため、日本産と非日本産を混同している回答がある可能性もある。
- 「いいえ」をみると、『フランス』が最も高く64.0%、次いで『イタリア』が58.5%、『米国』が54.8%となった。

質問:「あなたは、日本産清酒(日本酒)を購入したことがありますか。」

※(n=)は回答者数



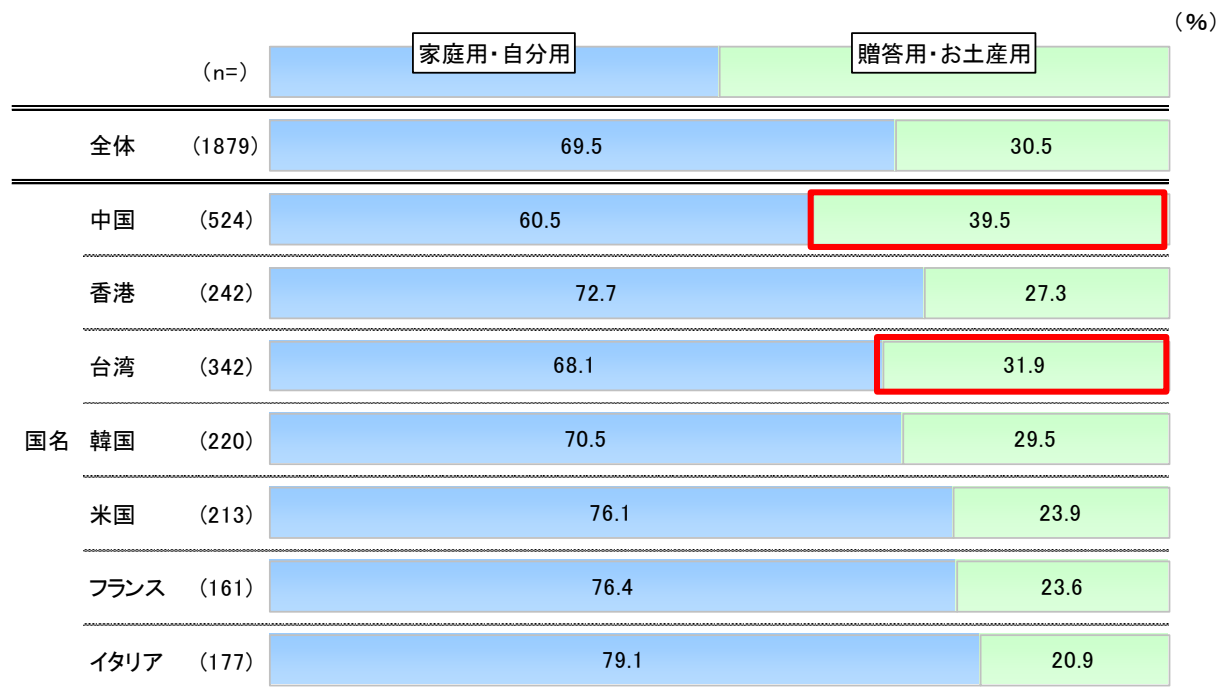
## A9 日本産清酒の用途

### 7割が自分用に購入、中国、台湾では高級品贈答習慣が強い

- 全体では、「家庭用・自分用」が69.5%と、「贈答用・お土産用」の30.5%を上回った。
- 「家庭用・自分用」をみると、『イタリア』が最も高く79.1%、次いで『フランス』が76.4%、『米国』が76.1%となった。
- 「贈答用・お土産用」をみると、『中国』が最も高く39.5%、次いで『台湾』が31.9%、『韓国』が29.5%となった。
- 中国と台湾では、仕事関係者等に対して高級品を贈答するという習慣が背景に表れているもよう。

質問:「日本産清酒を購入した際の用途をお教えてください。(複数回答可)」 ※本設問は、前問の「日本産清酒の購入経験」において「はい」と回答した方のみを対象

※(n=)は回答個数



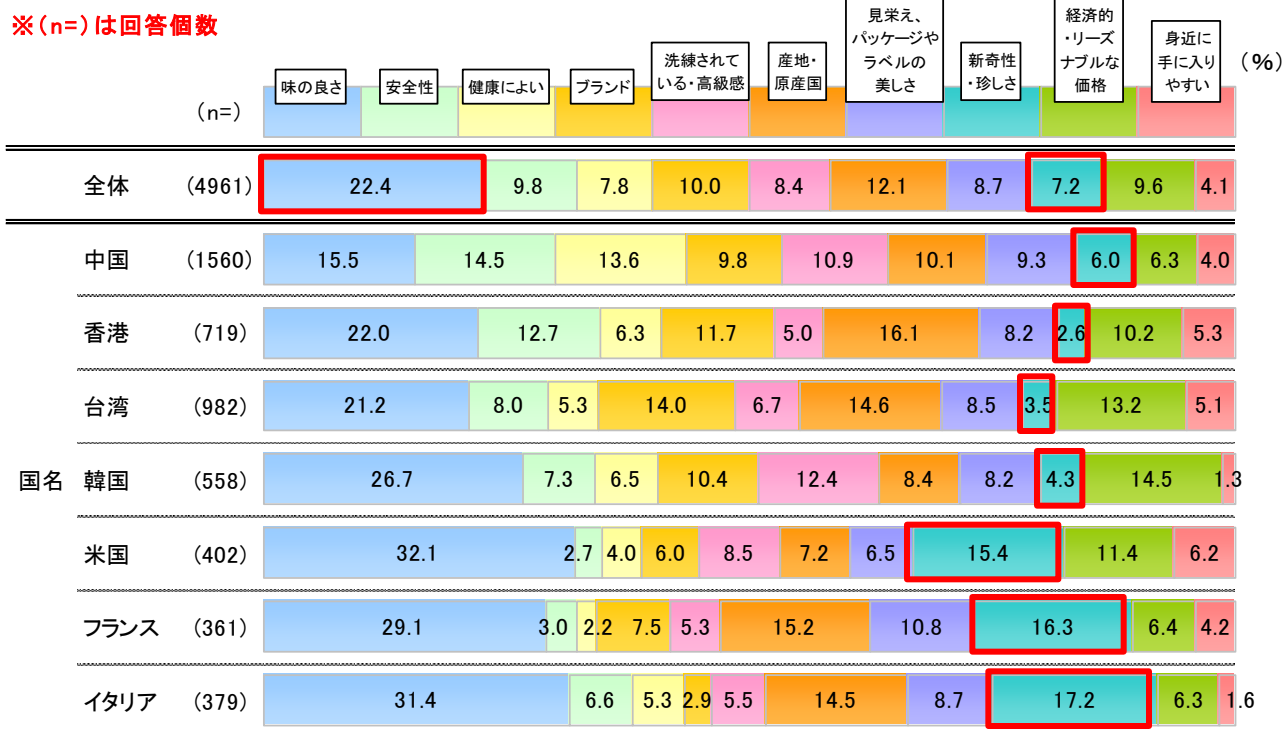
# A10 日本産清酒の購入時の重視点

「味の良さ」を最重要視するも、欧米では日本産清酒の「新奇性・珍しさ」が根強い

- 全体では、「味の良さ」が最も高く22.4%、次いで「産地・原産国」12.1%、「ブランド」が10.0%となった。
- 「味の良さ」をみると、『米国』が最も高く32.1%、次いで『イタリア』が31.4%、『フランス』が29.1%となった。
- 「産地・原産国」をみると、『香港』が最も高く16.1%、次いで『フランス』が15.2%、『台湾』が14.6%となった。
- 「ブランド」をみると、『台湾』が最も高く14.0%、次いで『香港』が11.7%、『韓国』が10.4%となった。

質問:「日本産清酒を購入した際に重視した点を教えてください。(複数回答可)」

※本設問は、前問の「日本産清酒の購入経験」において「はい」と回答した方のみを対象。



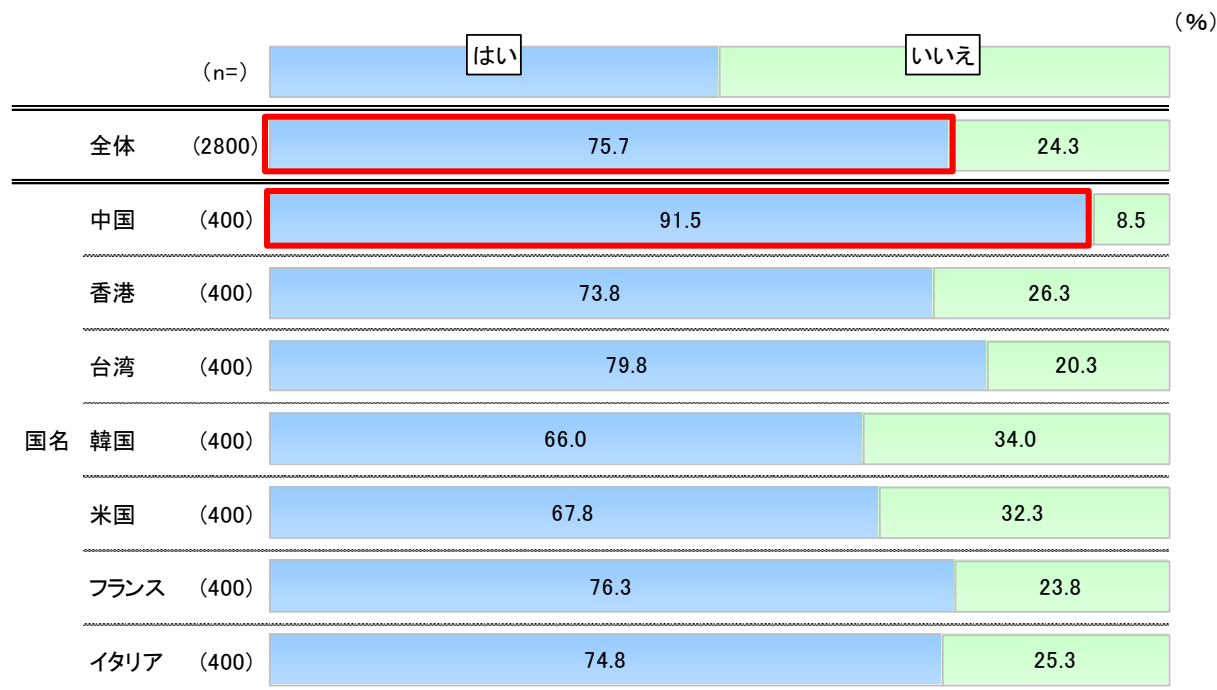
# A11 日本産清酒の消費経験

## 7割が消費経験あり、中国では9割超と突出、欧米でも7割超

- 全体では、「はい(消費経験あり)」が75.7%と、「いいえ(消費経験なし)」の24.3%を上回った。
  - 「はい」をみると、『中国』が最も高く91.5%※、次いで『台湾』が79.8%、『フランス』が76.3%となった。
  - 「いいえ」をみると、『韓国』が最も高く34.0%、次いで『米国』が32.3%、『香港』が26.3%となった。
- ※購入経験同様、日系酒造メーカーはじめ現地で清酒を生産している企業も多いため、日本産と非日本産を混同している回答がある可能性もある。

質問:「あなたは、日本産清酒(日本酒)を飲んだことがありますか。」

※(n=)は回答者数

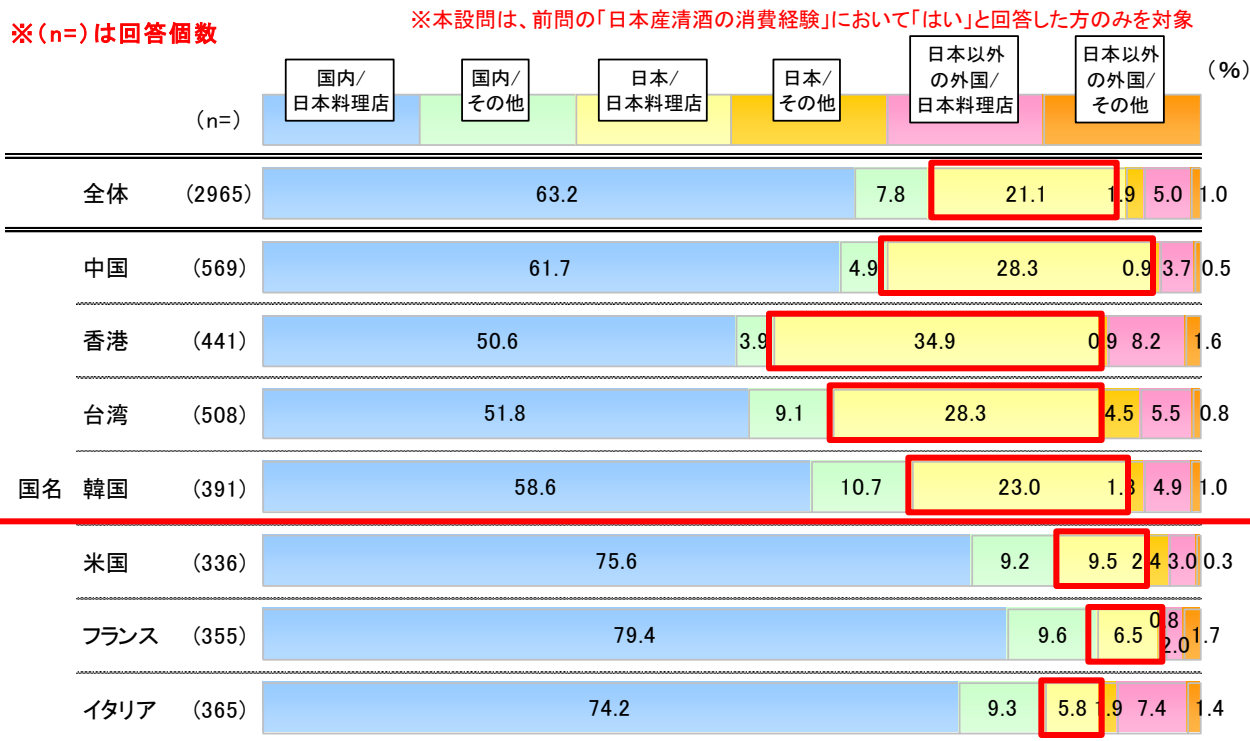


# A12 日本産清酒の消費場所

「日本/日本料理店」の消費割合がアジアで目立つ、欧米では国内消費にとどまる

- 全体では、「国内/日本料理店」が最も高く63.2%、次いで「日本/日本料理店」21.1%、「国内/その他」が7.8%となった。
- 「国内/日本料理店」をみると、『フランス』が最も高く79.4%、次いで『米国』が75.6%、『イタリア』が74.2%となった。
- 「日本/日本料理店」をみると、『香港』が最も高く34.9%、次いで『台湾』『中国』が28.3%となった。
- 「国内/その他」をみると、『韓国』が最も高く10.7%、次いで『フランス』が9.6%、『イタリア』が9.3%となった。
- 日本に対する地理的な近接さから、アジアでは日本を訪れての消費が目立つ。欧州では国内消費が7割超であるが、地理的な問題から、国内にとどまらざるを得ないという見方もできる。

質問:「あなたが飲んだ日本産清酒についてお聞きします。飲んだ場所はどこですか。(複数回答可)」



# A13 日本産清酒を飲んだことがない理由

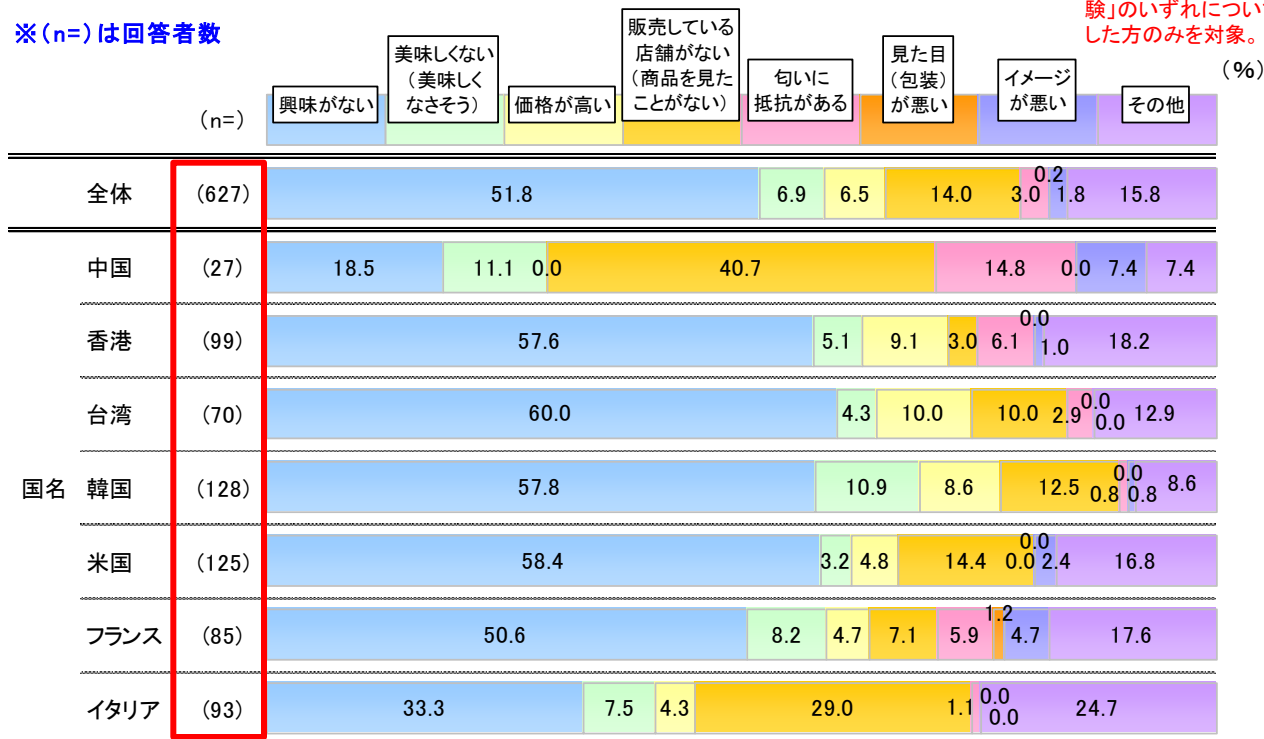
「興味がない」が過半数、次いで「販売している店舗がない」、「おいしくない」など

- 全体では、「興味がない」が最も高く51.8%、次いで「販売している店舗がない(商品を見たことがない)」14.0%、「おいしくない(おいしくなさそう)」が6.9%となった。
- 「興味がない」をみると、『台湾』が最も高く60.0%、次いで『米国』が58.4%、『韓国』が57.8%となった。
- 「販売している店舗がない(商品を見たことがない)」をみると、『中国』が最も高く40.7%、次いで『イタリア』が29.0%、『米国』が14.4%となった。
- 「おいしくない(おいしくなさそう)」をみると、『中国』が最も高く11.1%、次いで『韓国』が10.9%、『フランス』が8.2%となった。
- 国ごとに非購入者数を比較すると、最も少ないのが中国で27名、最も多いのが米国の125名であった。

質問:「日本産清酒を購入したこと・飲んだことがないのは何故ですか。」

※本設問は、前問の「日本産清酒の購入経験」および「日本産清酒の消費経験」のいずれについても「いいえ」と回答した方のみを対象。

※(n=)は回答者数



# A14 日本産清酒を飲んだ評価

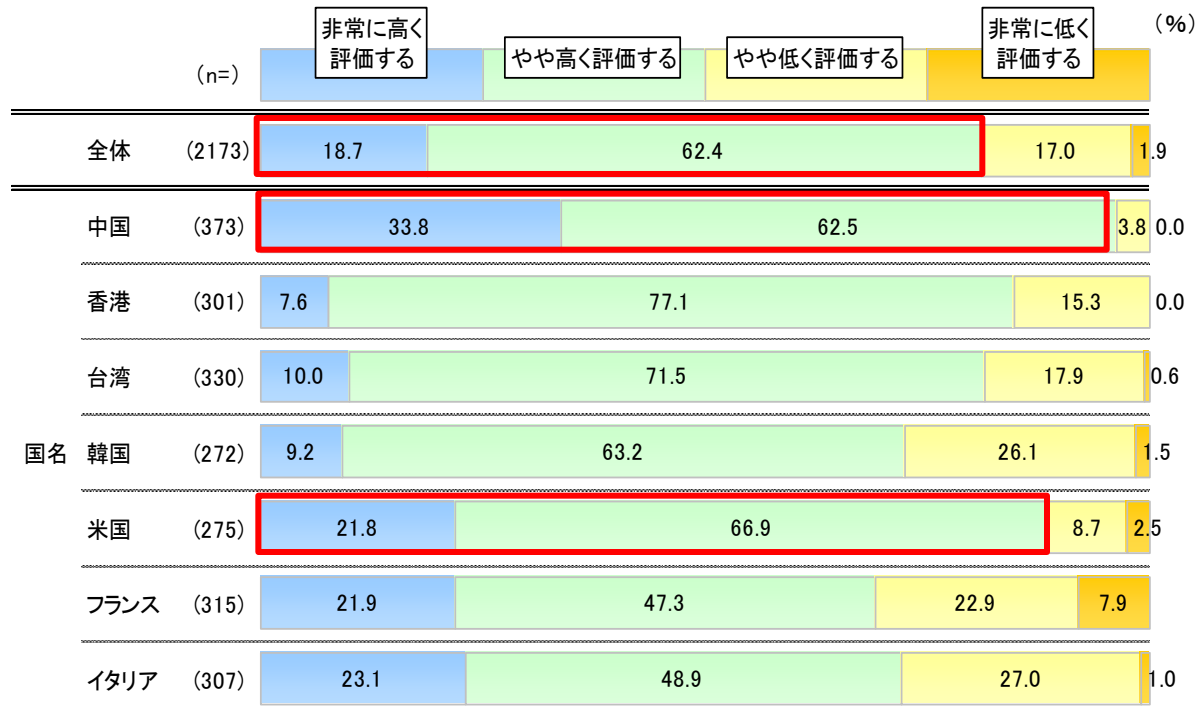
## 8割が日本産清酒を高く評価、特に中国、米国で好評

- 日本産清酒の評価は高く「非常に高く評価する」「やや高く評価する」の回答が8割。とりわけ、中国、米国の評価が高い。  
「非常に高く評価する」を見ると、『中国』が最も高く33.8%。  
(※中国、米国では日系メーカーをはじめ清酒の現地生産品も多く、一部産地誤認の可能性も)
- 米国での高評価は、近年日本産清酒の輸入が量・額ともに伸張しており、特に高価格帯の吟醸酒、純米酒といった特定名称酒が健闘していることも背景として考えられる。特に日本の蔵元と現地バイヤーの協力による活発なPR(蔵元の歴史、銘柄ごとの特徴などストーリー性を前面に出すなど)が効果的にはたらいっているもよう。

質問:「日本以外の他国産の酒類(ビール、ワイン、ウイスキー等)と比べた場合、日本産清酒(日本酒)を味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階で評価してください。」

※(n=)は回答者数

※本設問は、前問の「日本産清酒の購入経験」あるいは「日本産清酒の消費経験」のいずれかに「はい」と回答した方のみを対象。



## 4. 日本産緑茶の消費・購入経験、用途、評価に関する設問

- Q15 あなたは、日本産緑茶を購入したことがありますか。
- Q16 日本産緑茶を購入した際の用途をお教えてください。
- Q17 日本産緑茶を購入した際に重視した点を教えてください。
- Q18 あなたは、日本産緑茶を飲んだことがありますか。
- Q19 あなたが飲んだ日本産緑茶についてお聞きします。飲んだ場所はどこですか。
- Q20 日本産緑茶を購入したこと・飲んだことがないのはなぜですか。
- Q21 日本以外の他国産の茶(ウーロン茶、ジャスミン茶、紅茶等)と比べた場合、日本産緑茶を味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階評価してください。



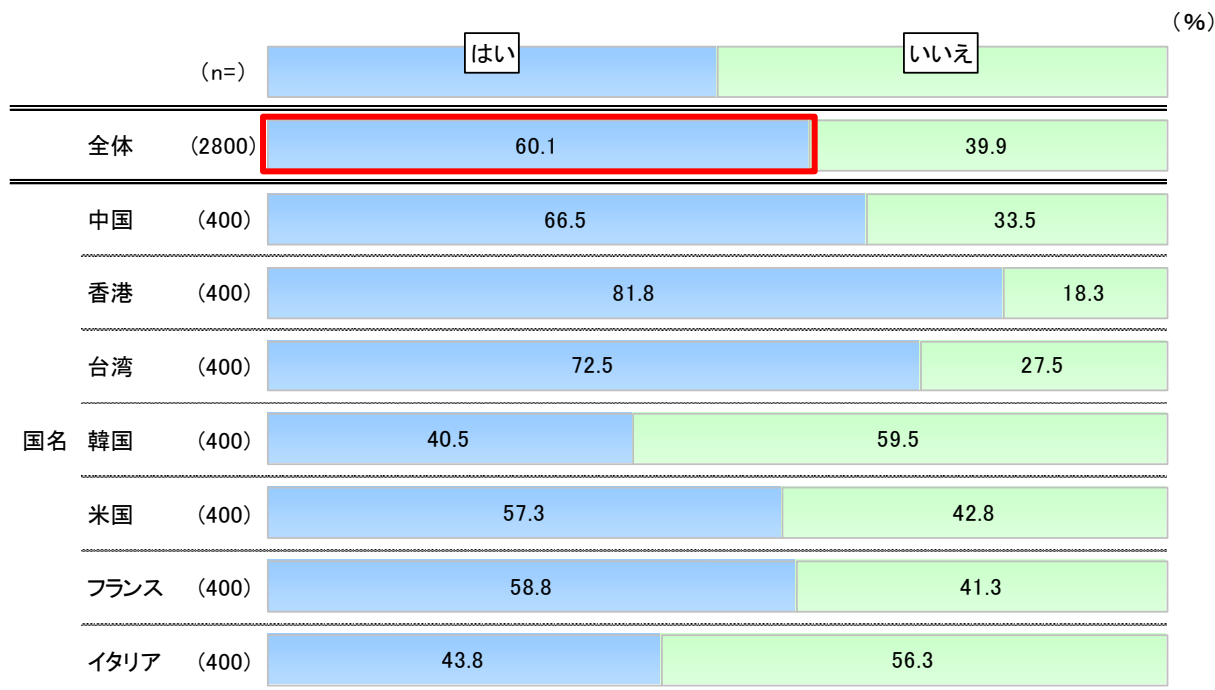
# A15 日本産緑茶の購入経験

## 6割が購入経験あり、台湾、香港などライフスタイルの相似が数値押し上げる

- 全体では、「はい(購入経験あり)」が60.1%と、「いいえ(購入経験なし)」の39.9%を上回った。
- 「はい」をみると、『香港』が最も高く81.8%、次いで『台湾』が72.5%、『中国』が66.5%となった。
- 「いいえ」をみると、『韓国』が最も高く59.5%、次いで『イタリア』が56.3%、『米国』が42.8%となった。
- 香港や台湾などではコンビニエンスストアやスーパーマーケットで緑茶が広く販売されているが、欧米と異なり、ペットボトルの茶が多いことが推測される。さらに、日常的にオフィスなどで飲用する習慣が調査結果に反映されていると見受けられる。

質問:「あなたは、日本産緑茶(日本茶)を購入したことがありますか。」

※(n=)は回答者数



# A16 日本産緑茶の用途

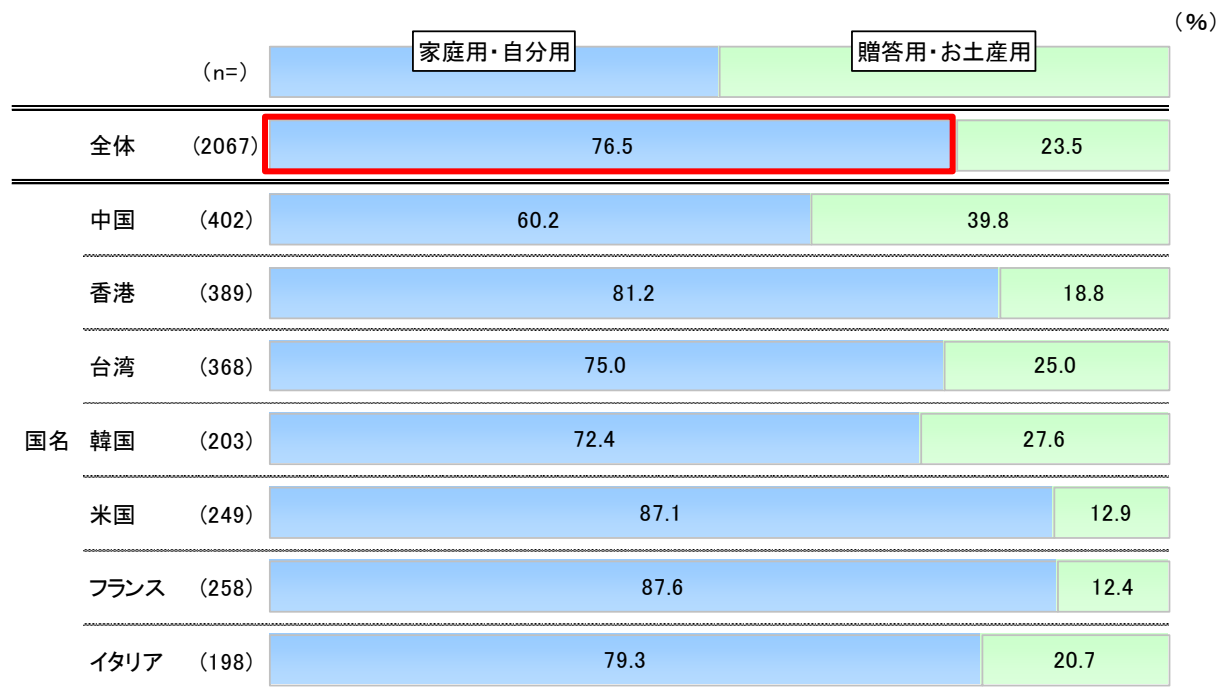
## 7割超が日本産緑茶を「家庭用・自分用」に購入、「贈答用」最多は中国

- 全体では、「家庭用・自分用」が76.5%と、「贈答用・お土産用」の23.5%を上回った。
- 「家庭用・自分用」をみると、『フランス』が最も高く87.6%、次いで『米国』が87.1%、『香港』が81.2%となった。
- 「贈答用・お土産用」をみると、『中国』が最も高く39.8%、次いで『韓国』が27.6%、『台湾』が25.0%となった。

質問:「日本産緑茶を購入した際の用途をお教えてください。(複数回答可)」

※(n=)は回答個数

※本設問は、前問の「日本産緑茶の購入経験」において「はい」と回答した方のみを対象

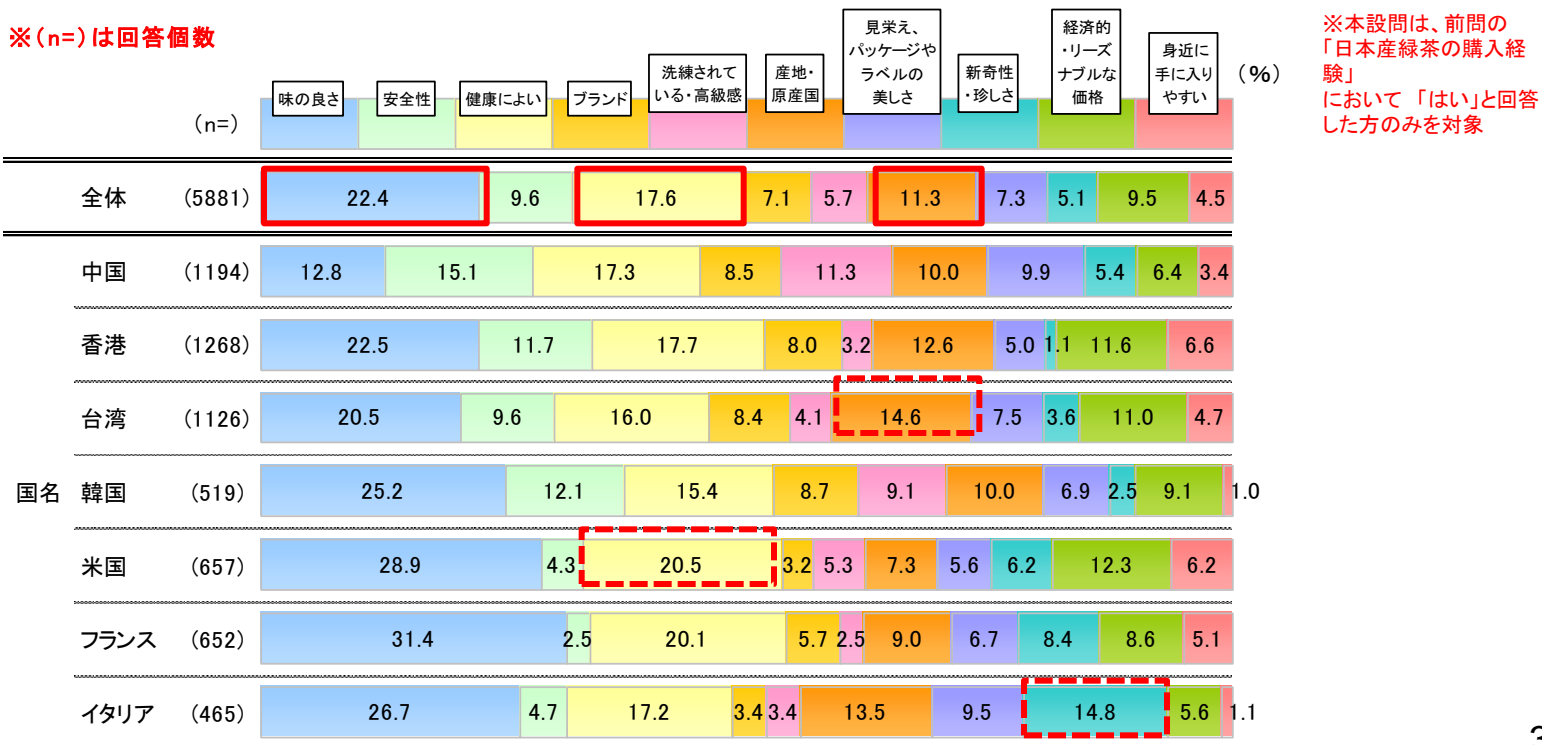


# A17 日本産緑茶の購入時の重視点

重要要素は「味の良さ」がトップ、次いで「健康によい」、「産地・原産国」

- 全体では、「味の良さ」が最も高く22.4%、次いで「健康によい」17.6%、「産地・原産国」が11.3%となった。
- 「味の良さ」をみると、『フランス』が最も高く31.4%、次いで『米国』が28.9%、『イタリア』が26.7%となった。
- 「健康によい」をみると、『米国』が最も高く20.5%、次いで『フランス』が20.1%、『香港』が17.7%となった。
- 「産地・原産国」をみると、『台湾』が最も高く14.6%、次いで『イタリア』が13.5%、『香港』が12.6%となった。
- 米国での「健康」志向、台湾での「産地・原産国」志向、イタリアでの「新奇性」志向は特徴的である。

質問:「日本産緑茶を購入した際に重視した点を教えてください。(複数回答可)」



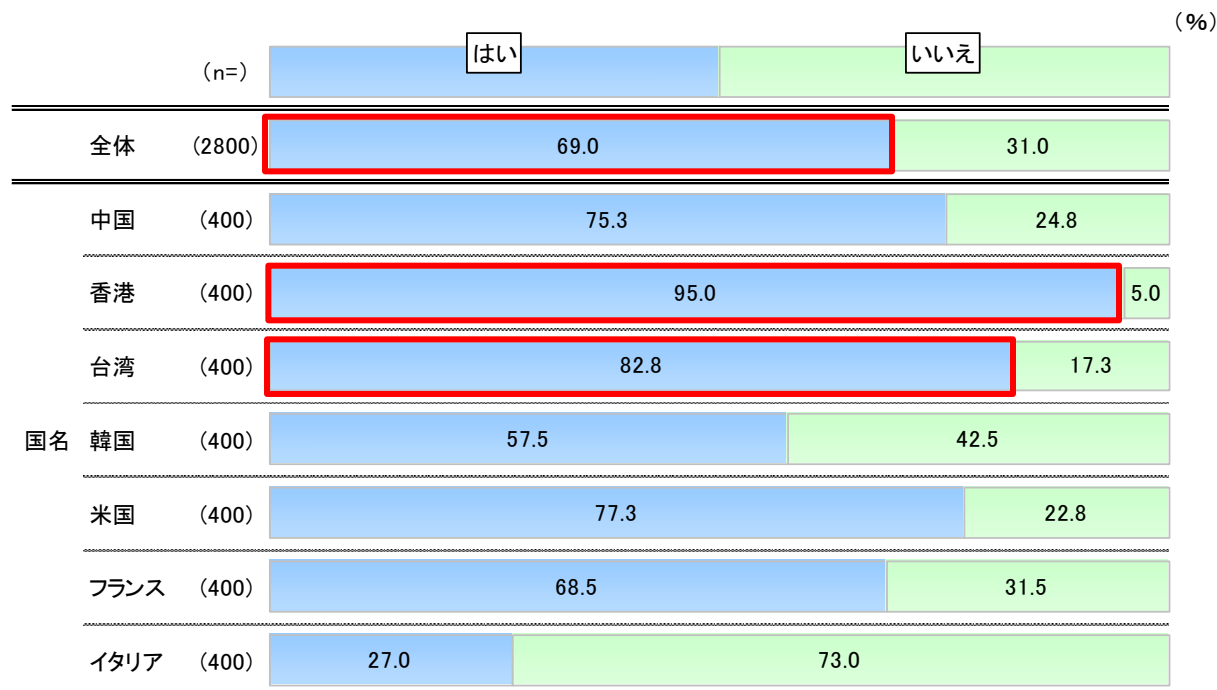
# A18 日本産緑茶の消費経験

7割が消費経験あり。食習慣・ライフスタイルから香港・台湾で消費伸びる

- 全体では、「はい(消費経験あり)」が69.0%と、「いいえ(消費経験なし)」の31.0%を上回った。
- 「はい」をみると、『香港』が最も高く95.0%、次いで『台湾』が82.8%、『米国』が77.3%となった。
- 「いいえ」をみると、『イタリア』が最も高く73.0%、次いで『韓国』が42.5%、『フランス』が31.5%となった。

質問:「あなたは、日本産緑茶(日本茶)を飲んだことがありますか。」

※(n=)は回答者数



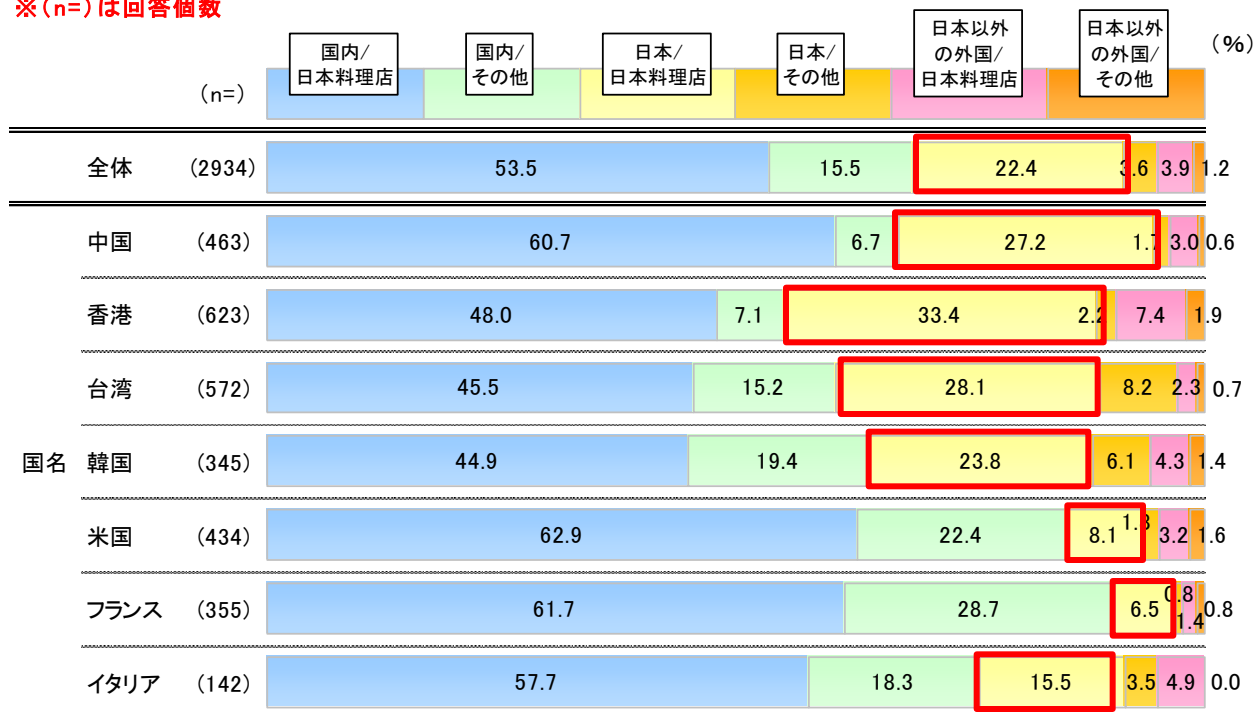
# A19 日本産緑茶の消費場所

## 「日本/日本料理店」の消費割合がアジアで目立つ、欧米は国内消費傾向

- 全体では、「国内/日本料理店」が最も高く53.5%、次いで「日本/日本料理店」22.4%、「国内/その他」が15.5%となった。
- 「国内/日本料理店」をみると、『米国』が最も高く62.9%、次いで『フランス』が61.7%、『中国』が60.7%となった。
- 「日本/日本料理店」をみると、『香港』が最も高く33.4%、次いで『台湾』が28.1%、『中国』が27.2%となった。
- 「国内/その他」をみると、『フランス』が最も高く28.7%、次いで『米国』が22.4%、『韓国』が19.4%となった。

質問:「あなたが飲んだ日本産緑茶についてお聞きします。飲んだ場所はどこですか。(複数回答可)」 ※本設問は、前問の「日本産緑茶の消費経験」において「はい」と回答した方のみを対象

※(n=)は回答個数



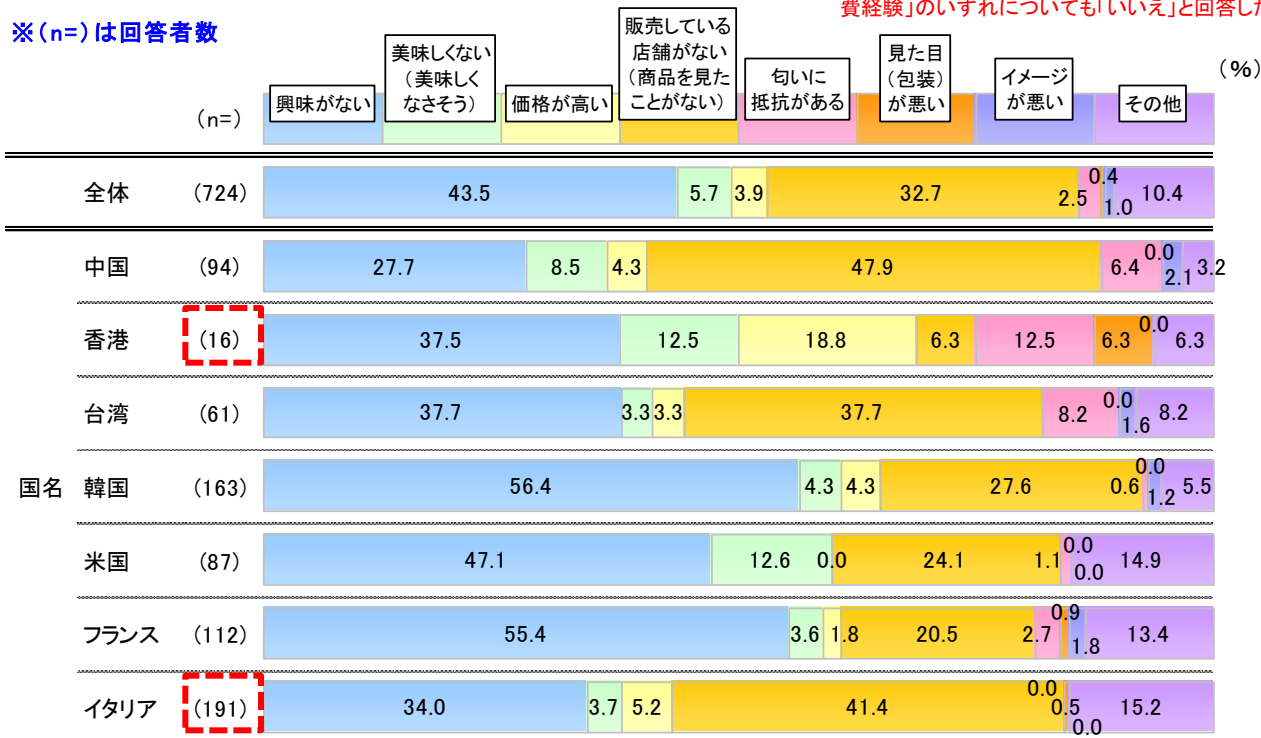
# A20 日本産緑茶を飲んだことがない理由

「興味がない」が4割、次いで「販売店舗がない」、「おいしくない」

- 全体では、「興味がない」が最も高く43.5%、次いで「販売している店舗がない(商品を見たことがない)」32.7%、「おいしくない(おいしくなさそう)」が5.7%となった。
- 「興味がない」をみると、『韓国』が最も高く56.4%、次いで『フランス』が55.4%、『米国』が47.1%となった。
- 「販売している店舗がない(商品を見たことがない)」をみると、『中国』が最も高く47.9%、次いで『イタリア』が41.4%、『台湾』が37.7%となった。
- 「おいしくない(おいしくなさそう)」をみると、『米国』が12.6%、次いで『香港』が12.5%、『中国』が8.5%となった。
- 国ごとに非購入者数を比較すると最も少ないのが香港で16人、最も多いのがイタリアの191人であった。

質問:「日本産緑茶を購入したこと・飲んだことがないのは何故ですか。」

※本設問は、前問の「日本産緑茶の購入経験」および「日本産緑茶の消費経験」のいずれについても「いいえ」と回答した方のみを対象。



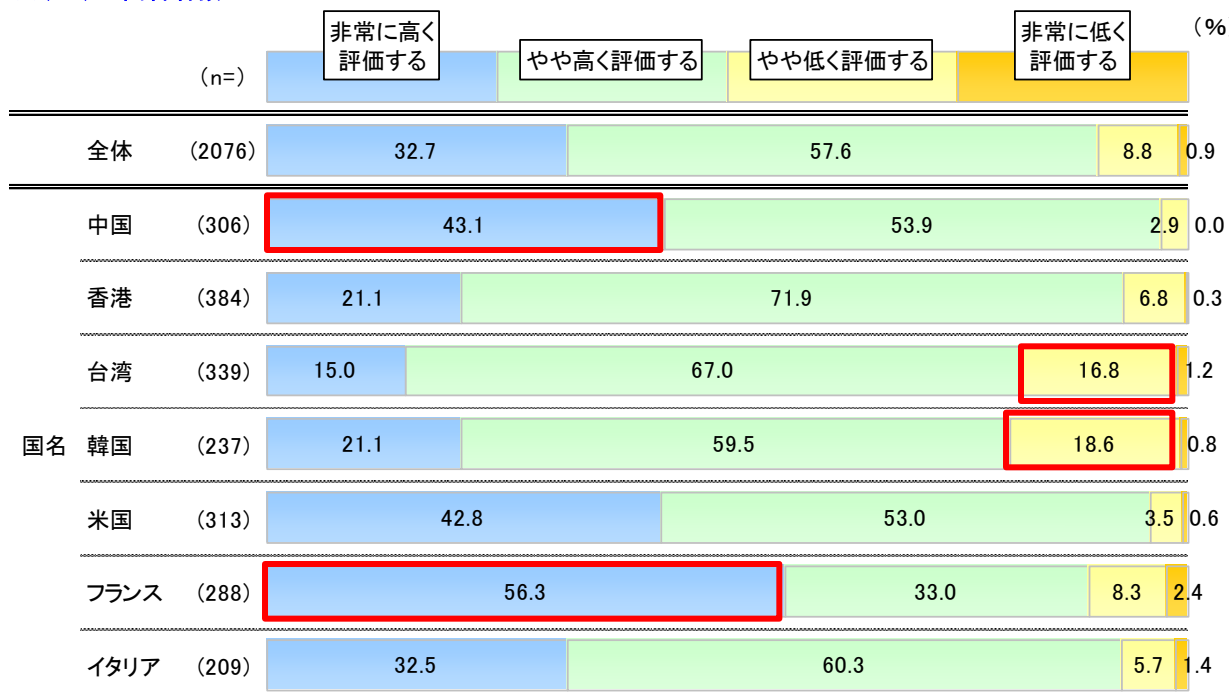
## A21 日本産緑茶を飲んだ評価

### 9割超が日本産緑茶を高く評価、特にフランスで好評

- 日本産緑茶の評価は高く「非常に高く評価する」「やや高く評価する」の回答が9割超。フランス、中国で特に高評価を得た。
- フランスでの高評価（「非常に高く評価する」という最高評価が56.3%）は、一般的な煎茶ではなく玉露やフレーバーティーとしての玄米茶などが一定の割合を占めていると思われる。葉の産地の違いや香りに敏感な点はワインと似ており受容されやすい点や、近年フランスで緑茶の「抗酸化作用」が老化防止に効果があると注目されており人気上昇していることなども背景として挙げられる。

質問:「日本以外の他国産の茶(ウーロン茶、ジャスミン茶、紅茶等)と比べた場合、日本産緑茶を味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階評価してください。」

※(n=)は回答者数



※本設問は、前問の「日本産緑茶の購入経験」あるいは「日本産茶の消費経験」のいずれかに「はい」と回答した方のみを対象。

## 5. 消費経験があり好きな日本産品に関する設問

- Q22** 日本産清酒、日本産緑茶以外で、過去1年間のうち消費経験のある日本産食品の中から好きなものを1つ挙げ、その具体的品目名、購入用途、評価(4段階)を教えてください。料理ではなく食材を回答ください。
- Q23** 食べた/飲んだ場所
- Q24** 購入した場合はその用途
- Q25** 食べた/飲んだ際、あるいは購入した際に重視した点
- Q26** 他国産品と比べた場合、味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階評価してください。
- Q27** 日本産食品・食材を購入する際に感じる問題点(改善してほしい点)や、日本産食品を買わない理由はありますか？



# A22-1 消費経験があり好きな日本産食品

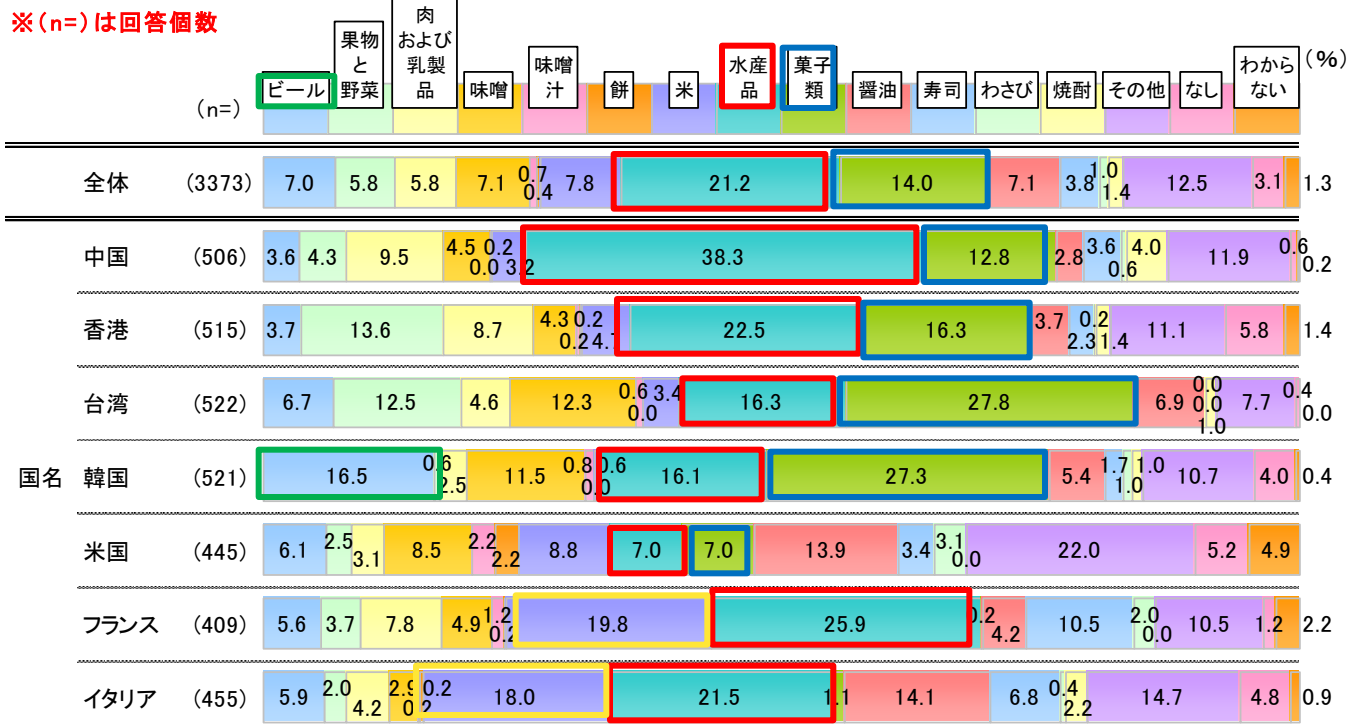
## 「水産物」が最も人気

水産物は中国、香港、フランス、イタリアで、菓子類はアジア(特に台湾、韓国)で人気

- 全体では、「水産物」が最も高く21.2%、次いで「菓子類」14.0%、「米」が7.8%となった。
- 「水産物」の割合が高いのは、中国、香港、フランス、イタリア。
- 「菓子類」の割合が高いのは、アジアで特に台湾、韓国。アジアでは、菓子類という一般的な名称ではなく、ブランド名や商品名の回答が多く見られ、結果として品目数も多くなっている。

質問:「日本産清酒、日本産緑茶以外で、過去1年間のうち消費経験のある日本産食品の中から好きなものを1つ挙げ、その具体的品目を教えてください。料理ではなく食材を回答ください。」

例:米、みそ、しょうゆ、焼酎、ビール、菓子類(例:チョコレート、ビスケット、ケーキ、菓子パン、せんべい、まんじゅう他)、果実・野菜(例:りんご、なし、いちご、ゆず、メロン、トマト他)、水産・同加工品(例:マグロ刺身、ブリ、ホタテ貝、サケ)、畜産品・酪農品(例:牛肉、豚肉、ハム、牛乳、チーズ他)



# A22-1 消費経験があり好きな日本産品

## 「鮭」、「米」、「味噌」、「ビール」、「醤油」が人気

- 鮭は中国、米はフランス・イタリア、味噌は台湾・韓国などで高評価の傾向
- アジアは回答点数多く、欧州よりもブランドや商品名など具体的回答が目立つ

国名	回答点数	品目数
中	565	107
香	572	125
台	620	135
韓	585	109
米	454	133
仏	471	87
伊	464	83

質問:「日本産清酒、日本産緑茶以外で、過去1年間のうち消費経験のある日本産食品の中から好きなものを1つ挙げ、その具体的品目名を教えてください。料理ではなく食材を回答ください。」

品目名	総数	中	香	台	韓	米	仏	伊
鮭	282	130	26	21	16	10	55	24
米	267	18	24	18	3	39	83	82
味噌	246	23	22	64	60	39	26	12
醤油	243	14	20	37	27	62	20	63
ビール	241	19	19	37	86	27	25	28
お菓子	178	17	25	65	58	12	1	0
マグロ	171	45	19	20	31	6	22	28
寿司	138	19	11	2	10	15	51	30
チョコレート	131	29	52	32	17	0	1	0
刺身	93	9	17	13	9	4	33	8

品目名	個数
鮭	282
鮭	252
鮭の寿司	4
鮭の刺身	25
鮭の刺身(中島水産)	1
米	267
米	263
米(コシヒカリ)	3
米(新潟米)	1
味噌	246
味噌	245
味噌(信州味噌)	1
醤油	243
醤油	235
醤油(キッコーマン)	8
ビール	241
ビール	185
ビール(アサヒ)	31
ビール(麒麟ビール)	11
ビール(麒麟一番絞りビール)	1
ビール(サッポロ)	10
ビール(サントリーモルツ)	1
ビール(チンタオ)	2

品目名	個数
お菓子	178
お菓子	121
お菓子(アーモンドと小魚)	1
お菓子(うまい棒)	2
お菓子(えびせん)	1
お菓子(カルビー)	3
お菓子(コアラのマーチ)	2
お菓子(じゃがポックル)	9
じゃがポックル	6
お菓子(スイーツ)	1
お菓子(スナック菓子)	12
お菓子(チョコレート)	9
お菓子(ビスケット)	2
お菓子(プリッツ)	2
お菓子(フレンチフライ)	3
お菓子(干し貝柱)	3
お菓子(煎餅)	1
マグロ	171
マグロ(クロマグロ)	2
	75
マグロ	
マグロの刺身	94

品目名	個数
寿司	138
寿司	107
寿司(板長寿司)	1
寿司(北海道)	1
寿司(アボガド巻き寿司)	2
寿司(巻き寿司)	24
寿司(元気寿司)	2
寿司(元禄寿司)	1
チョコレート	131
チョコレート	111
チョコレート(明治)	20
刺身	97
刺身	97
ビスケット	98
ビスケット	97
ビスケット(北海道)	1
水産品・水産加工品	92
帆立	78
帆立	74
帆立(刺身)	2
帆立(北海道)	2

品目名	個数
牛肉	71
牛肉	67
牛肉(神戸牛)	1
牛丼(吉野家)	2
牛肉(特に鍋用)	1
煎餅	62
饅頭	55
焼酎	50
果物	47
林檎	52
ふじ林檎	10
林檎	42
ケーキ	37
わさび	31
ラーメン	31
ラーメン	28
ラーメン(味千ラーメン)	1
ラーメン(花月)	1
ラーメンスープ	1
チーズ	25
チーズ	24
チーズ(北海道)	1

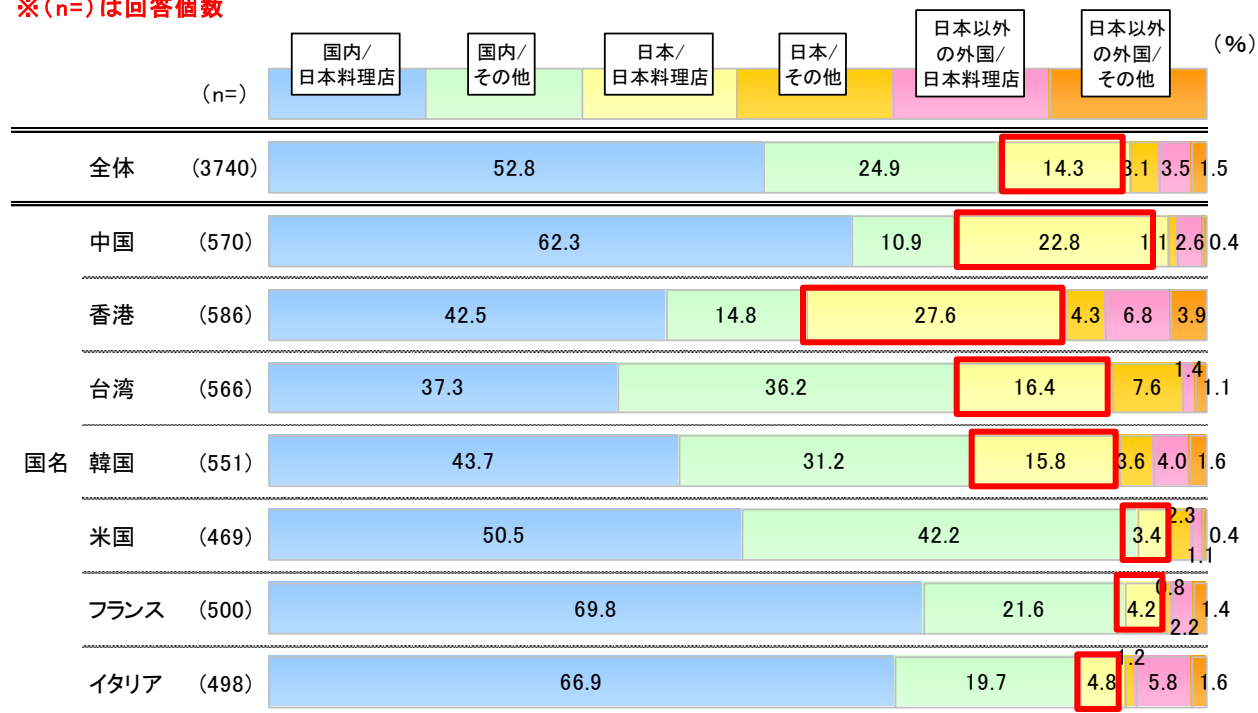
## A23 日本製品の消費場所

### 「日本/日本料理店」の消費割合がアジアで目立つ、欧米は国内消費傾向

- 全体では、「国内/日本料理店」が最も高く52.8%、次いで「国内/その他」24.9%、「日本/日本料理店」が14.3%となった。
- 「国内/日本料理店」をみると、『フランス』が最も高く69.8%、次いで『イタリア』が66.9%、『中国』が62.3%となった。
- 「国内/その他」をみると、『米国』が最も高く42.2%、次いで『台湾』が36.2%、『韓国』が31.2%となった。
- 「日本/日本料理店」をみると、『香港』が最も高く27.6%、次いで『中国』が22.8%、『台湾』が16.4%となった。
- 『米国』においては、アジア系スーパーマーケットの存在や、米国系スーパーマーケットでも豆腐、しょうゆなどが販売されている背景から、「国内/その他」の数値を押し上げているものと思われる。

質問:「前問で挙げたあなたが好きな日本製品について、食べた/飲んだ場所を教えてください(複数回答可)」

※(n=)は回答個数



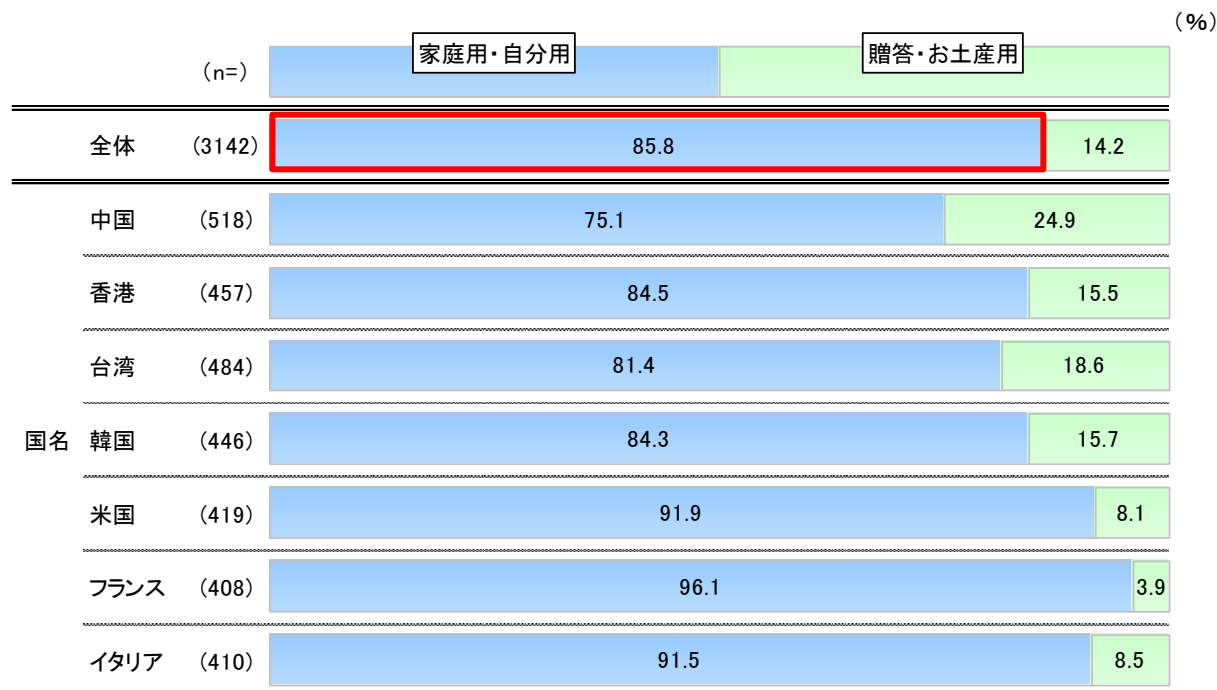
## A24 日本製品の用途

8割超が「家庭用・自分用」に購入、「贈答・お土産用」商品の少なさも指摘される

- 全体では、「家庭用・自分用」が85.8%と、「贈答・お土産用」の14.2%を上回った。
- 「家庭用・自分用」をみると、『フランス』が最も高く96.1%、次いで『米国』が91.9%、『イタリア』が91.5%となった。
- 「贈答・お土産用」をみると、『中国』が最も高く24.9%、次いで『台湾』が18.6%、『韓国』が15.7%となった。

質問:「前問で挙げたあなたが好きな日本製品について、購入したことがある場合、その用途を教えてください(複数回答可)」

※(n=)は回答個数

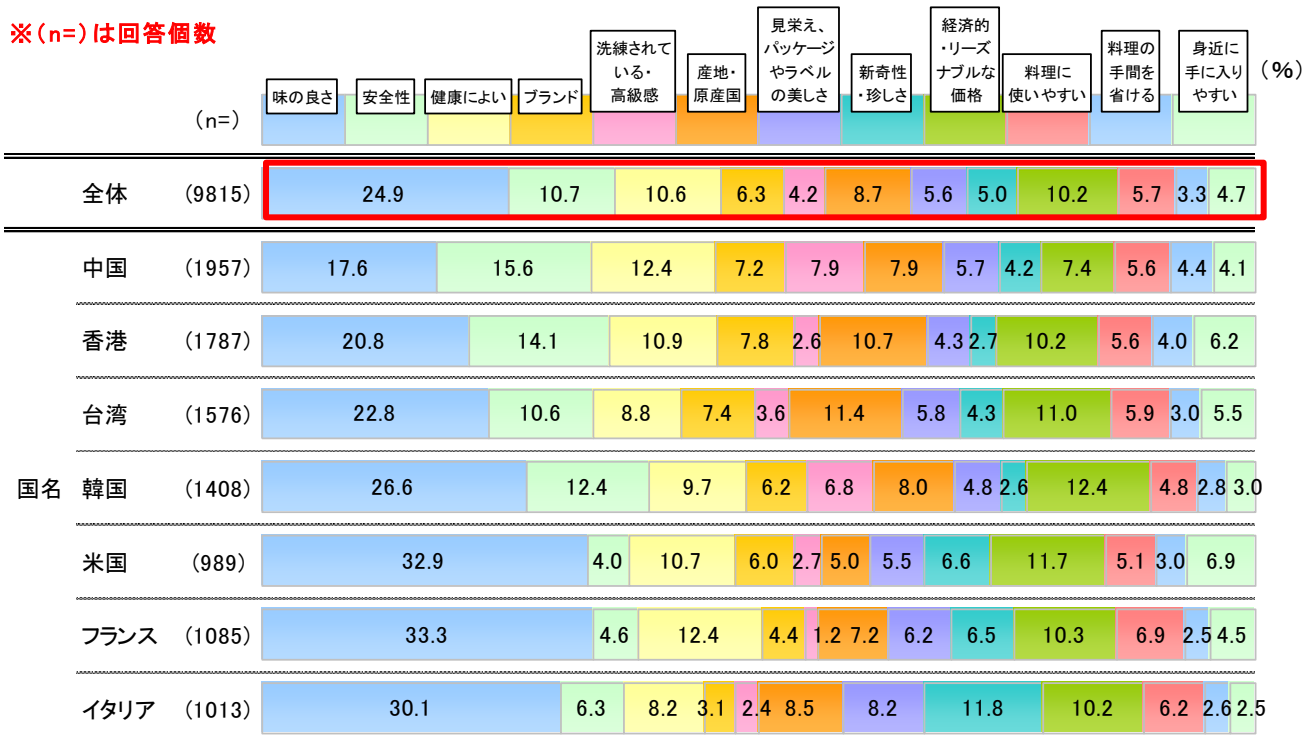


# A25 日本製品の購入時の重視点

重要な要素は「味の良さ」がトップ、次いで「安全性」、「健康によい」

- 全体では、「味の良さ」が最も高く24.9%、次いで「安全性」10.7%、「健康によい」が10.6%となった。
- 「味の良さ」をみると、『フランス』が最も高く33.3%、次いで『米国』が32.9%、『イタリア』が30.1%となった。
- 「安全性」をみると、『中国』が最も高く15.6%、次いで『香港』が14.1%、『韓国』が12.4%となった。
- 「健康によい」をみると、『フランス』『中国』が最も高く12.4%、次いで『香港』が10.9%となった。

質問:「前問で挙げたあなたの好きな日本製品について、購入したことがある場合、購入の際に重視した点を教えてください。(複数回答可)」



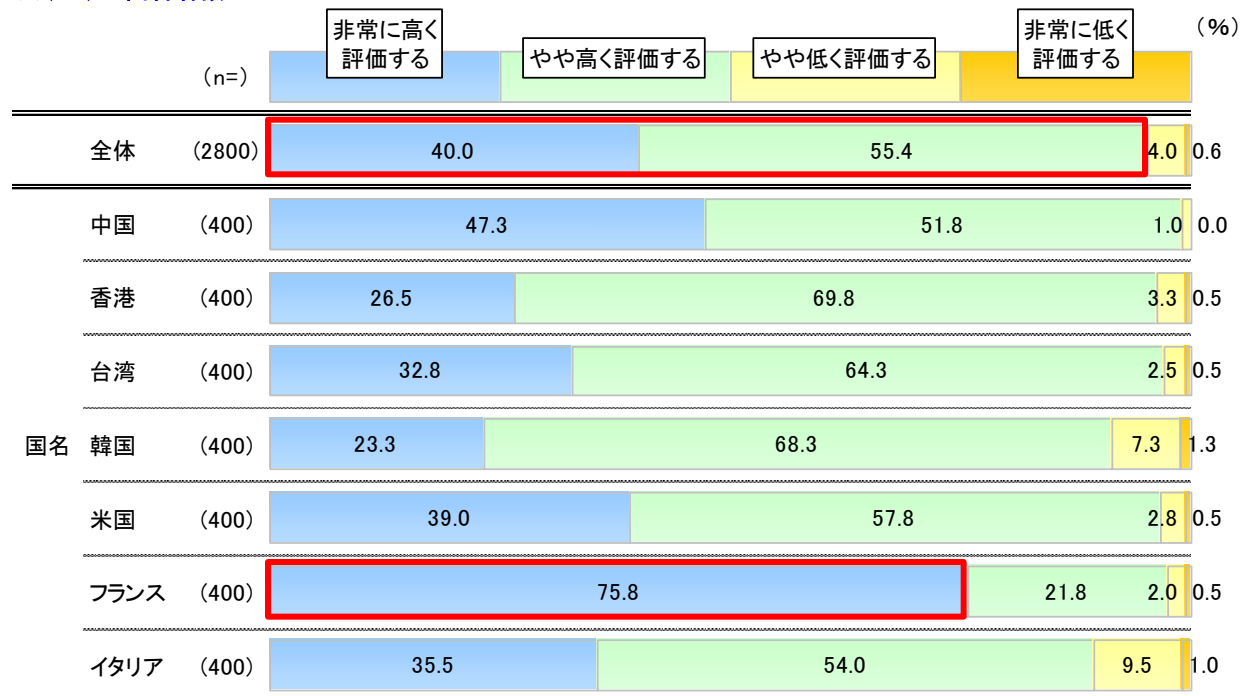
## A26 実際に購入・消費した日本産品の評価

### フランスにて日本産品が非常に好評、全体でも9割が高評価

- 全体では、「やや高く評価する」が最も高く55.4%、次いで「非常に高く評価する」40.0%、「やや低く評価する」が4.0%となった。
- 「やや高く評価する」をみると、『香港』が最も高く69.8%、次いで『韓国』が68.3%、『台湾』が64.3%となった。
- 「非常に高く評価する」をみると、『フランス』が最も高く75.8%、次いで『中国』が47.3%、『米国』が39.0%となった。
- 「やや低く評価する」をみると、『イタリア』が最も高く9.5%、次いで『韓国』が7.3%、『香港』が3.3%となった。

質問:「前問で挙げたあなたの好きな日本産品について、味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階評価してください。」

※(n=)は回答者数



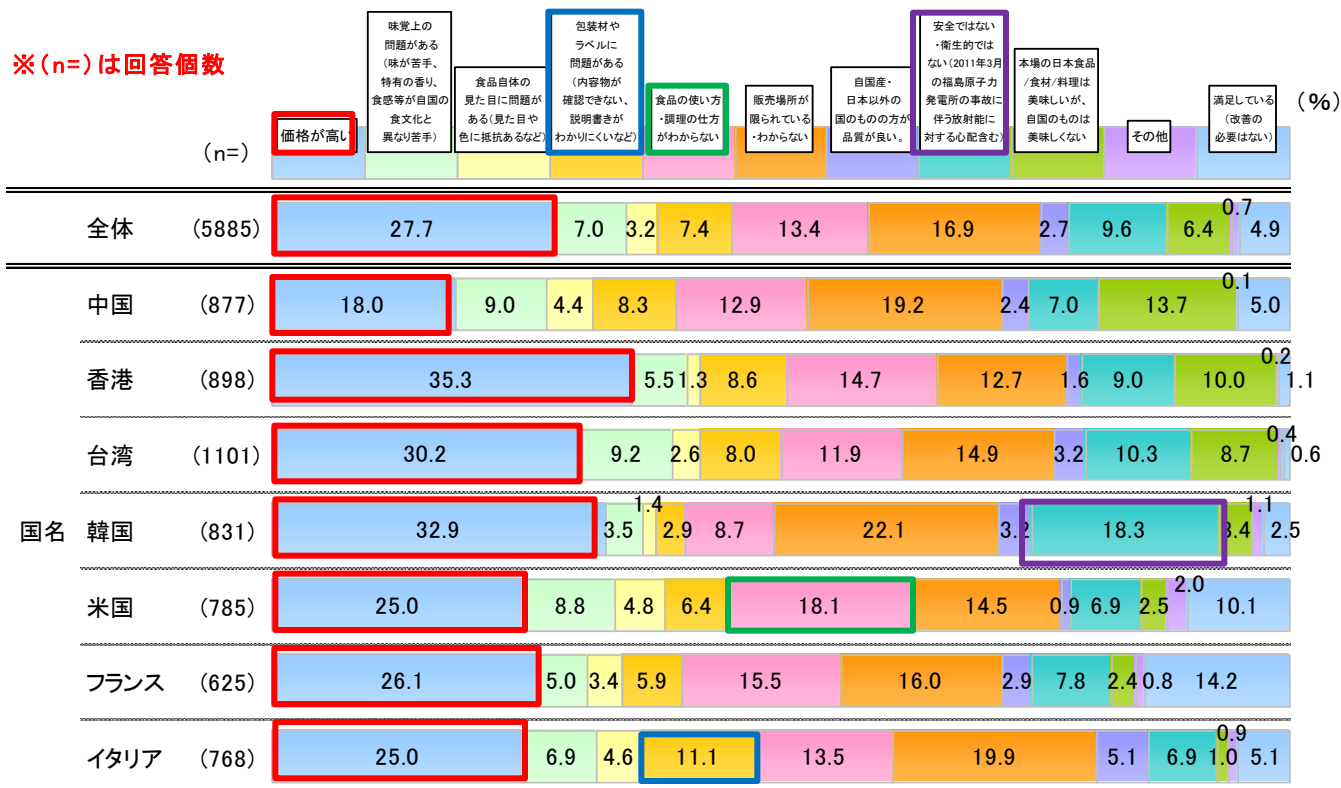
# A27 日本産品の非購入理由・問題点

## 「価格が高い」は各国・地域共通の認識

韓国では日本産品への安全性への懸念、イタリアではパッケージ・ラベルに問題、米国では食材の使用法・調理法が分からないという声も。

- 全体では、「価格が高い」が最も高く27.7%、次いで「販売場所が限られている・わからない」、「食品の使い方・調理の仕方がわからない」
- 国ごとに特徴的な課題としては、韓国の「安全・衛生面での懸念(原発事故の影響含む)」が18.3%、米国の「食品の使い方・調理の仕方がわからない」が18.1%、イタリアの「包装材やラベルに問題がある」11.1%がみられた。
- 韓国については、地理的な日本との距離の近さからの原発事故の影響含む安全性への懸念が背景の一要因として考えられる。
- イタリアについては、商品表示規制から、包装材やラベルについては、輸入後にイタリア語表示のラベルを添付するケースが多く、汚くなったり元の表示が見えなくなったりと問題が多いことも背景の一つといえる。

質問:「日本産食品・食材を購入する際に感じる問題点(改善して欲しい点)や日本産食品を買わない理由はありますか(複数回答可)。」



## 6. 現状輸入が難しい 日本産品に関する設問

**Q28** 選択肢にある日本産品は、高品質・美味と定評のある銘柄が数多くあり、日本の消費者に支持されています。「食べてみたい」あるいは「家族に食べさせたい」と思う食品にチェックをつけてください。その他食べてみたい日本産の食品があれば記述してください。



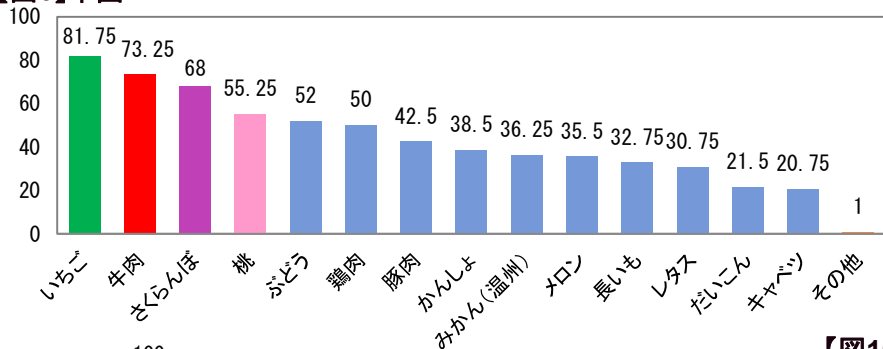
# A28 現状輸入が難しい日本産品に関して 日本産の「牛肉」「桃」に高い需要

●対象国・地域共通して「牛肉」「桃」に高い需要がみられた。  
ほか、中国で「いちご」、米国で「さくらんぼ」、フランスで「鶏肉」、韓国で「びわ」への高い需要も明らか【図6】～【図10】に。

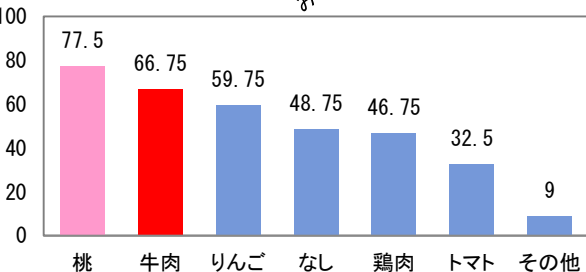
【図6】～【図11】食べてみたい日本産品（中国、台湾、韓国、米国、フランス、イタリア）

質問：以下の日本産品は、高品質・美味と定評のある銘柄が数多くあり、日本の消費者に支持されていますが、「食べてみたい」あるいは「家族に食べさせたい」と思う食品にチェックをつけてください（複数回答可）。

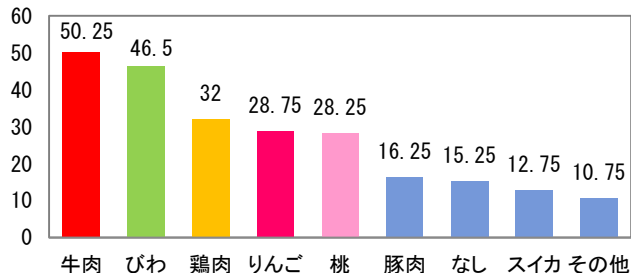
【図6】中国



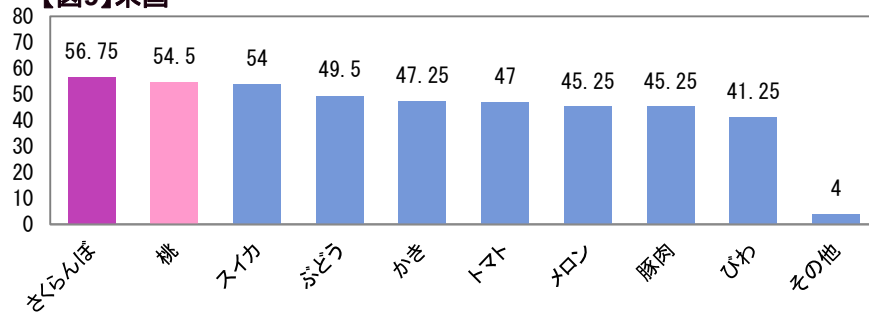
【図7】台湾



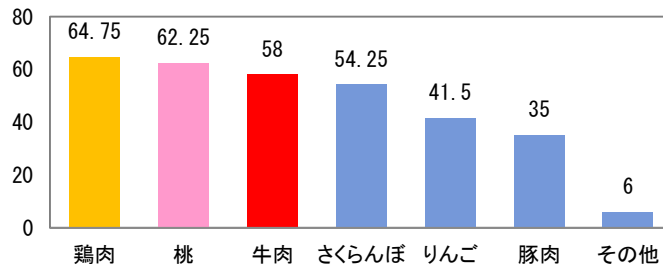
【図8】韓国



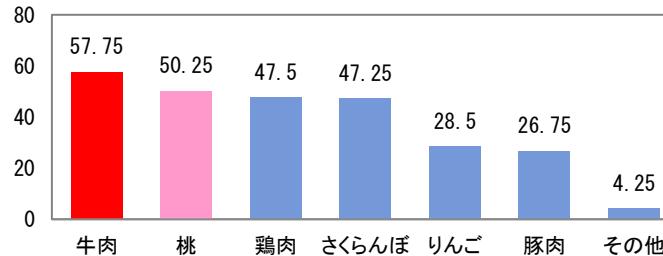
【図9】米国



【図10】フランス



【図11】イタリア



※現状輸入が難しい日本産品を選択肢として設けているため各国で選択肢が異なる。  
【図6】～【図11】は、複数回答可としており、各国の回答者数400に対する回答個数の割合を示した。

# 設問一覧

No.	調査結果タイトル	設問文
F1	性別	あなたの性別を教えてください。
F2	年代	あなたの年代を教えてください。
F3	日本食購入経験	あなたは過去に日本食品を購入あるいは日本料理店を利用したことがありますか。
F4	日本食購入意向	あなたは今日本の食べ物や飲み物を買って、食べたり飲んだりしたい、あるいは日本料理店に行きたいと思いませんか。
F5	居住国及び居住地域	あなたが現在お住まいの国・地域を教えてください。
F6	国籍	あなたの国籍はどちらですか。
F7	世帯年収	あなたの世帯年収をおおよそで結構ですでお知らせください。(各国事情に合わせて選択肢を設定)
1	好きな外国料理	好きな料理かつ外食で食べる外国料理はどれですか(複数回答可)。
2	好きな日本料理	好きな日本料理メニューはどれですか(複数回答可)。
3	好きな寿司ねた・刺身	「寿司」、「刺身」を選んだ方にお聞きします。好きな食材はどれですか(複数回答可)。
4	日本料理店に行く理由	日本料理店に行く理由を教えてください(複数回答可)。
5	食品購入時の重視点	日本食品に限らず、食品一般についてお聞きします。日頃、食品を購入する際に重視する点は何ですか(複数回答可)。
6	輸入食品等購入時の重要情報源	日本食品に限らず、輸入食品一般についてお聞きします。輸入食品の購入に当たってどのような情報源を重要視しますか(複数回答可)。
7	輸入食品等購入時の重要情報源(SNS、サイト名)	「インターネットのクチコミサイト、ブログ、SNS」と回答した方にお聞きします。具体的に参考にされているサイトを教えてください。

## 設問一覧

No.	調査結果タイトル	設問文
8	日本産清酒の購入経験	あなたは、日本産清酒を購入したことがありますか。
9	日本産清酒の用途	日本産清酒を購入した際の用途をお教えてください。(複数回答可)
10	日本産清酒の購入時の重視点	日本産清酒を購入した際に重視した点を教えてください。(複数回答可)
11	日本産清酒の消費経験	あなたは、日本産清酒を飲んだことがありますか。
12	日本産清酒の消費場所	あなたが飲んだ日本産清酒についてお聞きます。飲んだ場所はどこですか。(複数回答可)
13	日本産清酒を飲んだことがない理由	日本産清酒を購入したこと・飲んだことがないのはなぜですか。
14	日本産清酒を飲んだ評価	日本以外の他国産の酒類(ビール、ワイン、ウイスキー等)と比べた場合、日本産清酒を味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階で評価してください。
15	日本産緑茶の購入経験	あなたは、日本産緑茶(ティーバッグを含む)を購入したことがありますか。
16	日本産緑茶の用途	日本産緑茶を購入した際の用途をお教えてください。(複数回答可)
17	日本産緑茶の購入時の重視点	日本産緑茶を購入した際に重視した点を教えてください。(複数回答可)
18	日本産緑茶の消費経験	あなたは、日本産緑茶(ティーバッグを含む)を飲んだことがありますか。
19	日本産緑茶の消費場所	あなたが飲んだ日本産緑茶についてお聞きます。飲んだ場所はどこですか。(複数回答可)
20	日本産緑茶を飲んだことがない理由	日本産緑茶を購入したこと・飲んだことがないのはなぜですか。
21	日本産緑茶を飲んだ評価	日本以外の他国産の茶(ウーロン茶、ジャスミン茶、紅茶等)と比べた場合、日本産緑茶を味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階評価してください。

## 設問一覧

No.	調査結果タイトル	設問文
22	消費経験があり好きな日本産品	<p>日本産清酒、日本産緑茶以外で、過去1年間のうち消費経験のある日本産食品の中から好きなものを1つ挙げ、その具体的品目名、購入用途、評価(4段階)を教えてください。料理ではなく食材を回答ください。</p> <p>例:米、みそ、しょうゆ、焼酎、ビール、菓子類(例:チョコレート、ビスケット、ケーキ、菓子パン、せんべい、まんじゅう他)、果実・野菜(例:りんご、なし、いちご、ゆず、メロン、トマト)、水産・同加工品(例:マグロ刺し身、ブリ(ハマチ)、ホタテ貝、さけ)、畜産品・酪農品(例:牛肉、豚肉、ハム、牛乳、チーズ)</p>
23	日本産品の消費場所	食べた/飲んだ場所(複数回答可)
24	日本産品の用途	購入した場合はその用途(複数回答可)
25	日本産品の購入時の重視点	食べた/飲んだ際、あるいは購入した際に重視した点(複数回答可)
26	実際に購入・消費した日本産品の評価	他国産品と比べた場合、味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階評価してください。
27	日本産品の非購入理由・問題点	日本産食品・食材を購入する際に感じる問題点(改善して欲しい点)や日本産食品を買わない理由はありますか(複数回答可)。
28	食べてみたい日本産品	選択肢にある日本産品は、高品質・美味と定評のある銘柄が数多くあり、日本の消費者に支持されていますが、「食べてみたい」あるいは「家族に食べさせたい」と思う食品にチェックをつけてください(複数回答可)。その他食べてみたい日本産の食品があれば記述してください(自由回答)。